

STAR

自走ミニシンクスプレッダ

取扱説明書・部品表

製品コード	K93085
型式	JXS0510
部品供給型式	JXS0510-01

キャンバスカバー・アタッチメント

製品コード	K93086
型式	ACV0500

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

⚠ 安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、⚠印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

警告

手足入れ厳禁

このカバー内には回転物があります。
手や足を入れるとけがをします。

部品番号 50320120007

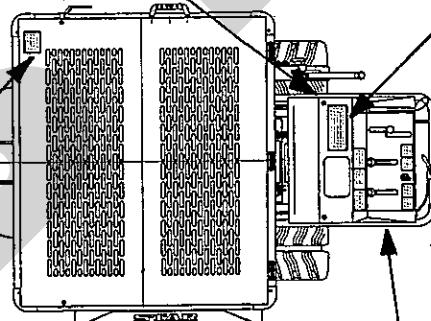
注意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病氣や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずP.T.Oなどの動力遮断や動力停止（エンジン・電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を見すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすみて下さい。

部品番号 106164



警告

運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106169

危険



燃油口に火気を近づけると、
火災になる事があります。
火気を近づけないで下さい。
燃油中はエンジンを停止して下さい。
燃料は高級ガソリンです。

警告



排気の悪い場所で運転すると、
排気ガスにより中毒になる事
があります。
窓や戸等を開け、十分に換気
をして下さい。

注意



マフラーに触れるとヤケドを
することがあります。
マフラーには触れないでく
ださい。

注意

砂を越える時、運転が阻害し、
ケガをする事があります。
運転には運転で、常に運転に
行ってください。
運転を越える時は、アーミ
モードを使用してください。

注意

積み下ろし時クラッチを操作
すると、車両に道路が変わ
り運転が阻害する事があります。
運転ブレーキ及びサイドクラ
ッチを操作しないで下さい。

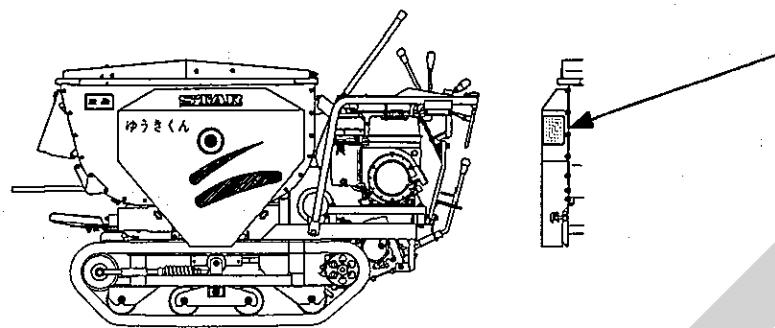
注意

エンジンを始動する時、運転
が急に止めて、ケガをする事
があります。
運転ブレーキをかけ、走行ク
ラッチ・作業クラッチを切っ
て下さい。

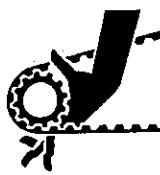
注意

エンジンをかけたまま運転か
ら離れる時、不意に運転が制
き出し事故の原因を起こす事
があります。
エンジンを停止し、運転ブレ
ーキをかけてください。

部品番号 62806560000
部品番号 B15647

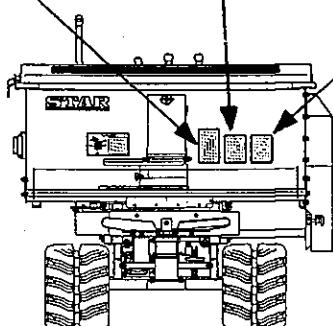


▲ 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。作業前には、本取扱説明書をよくお読みになり、本機を十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付しているいる警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

□帽子を着用する。

□はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

燃料を補給する時は

▲危険

- 給油口に火気を近づけると、火災になる事があります。
火気を近づけないでください。
給油中はエンジンを停止してください。

エンジンを始動・発進する時は

▲注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをする事があります。
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってから始動してください。
- 作業クラッチを切らないでエンジンを始動すると、急にオーガやスピナが駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
作業クラッチを切ってから始動してください。
- 急発進すると事故を起こす事があります。

周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 換気の悪い場所で運転すると排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸等をあけ、十分に換気してください。

キャンバスカバーを着脱・調整する時は

▲注意

- キャンバスカバーを着脱・調整する時、本機のエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意に本機が動いたりして事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて行ってください。

公道走行禁止

▲注意

- 本機は公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
一般道路を移動するときは、トラックなどで運んでください。

積み下ろしをする時は

▲注意

- 積み下ろし時クラッチを操作すると、急激に進路が変わり機械が転倒する事があります。
走行クラッチ及びサイドクラッチを操作しないでください。

移動走行する時は

▲注意

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り飛ばされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。
路肩は走行しないでください。
- 畦を越える時、機械が転倒し、ケガをする事があります。
畦越えは低速で、畦に直角に行ってください。高い畦を越えるときはあゆみ板を使用してください。
- 本機の上に人を乗せると、転落し、ケガをすることがあります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。

本機の上には、人や物などはのせないでください。

- 作業クラッチを切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、作業クラッチを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 運転中又は回転中、ホッパカバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
ホッパカバーを開けないでください。
- スピナクラッチを入れたまま取出口から肥料を取り出すと、スピナに巻き込まれケガをする事があります。
作業クラッチを切り、スピナクラッチを切った後、取り出し操作をしてください。
- オーガが回転している時、スピナクラッチを「入」にすると急にスピナが回転し、巻き込まれケガをする事があります。
オーガが回転している時スピナクラッチを操作しないでください。
- 運転中又は回転中、取出口に手を入れると回転物に接触し、ケガをする事があります。
手を入れないでください。

▲注意

- 運転中、又は回転中スピナに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 本機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
本機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。
しっかりとハンドルを握って運転してください。
- 換気の悪い場所で運転するとガスにより中毒になる事があります。
窓や戸等をあけ、十分に換気をしてください。
- 散布作業中、飛散物が当たりケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。
カバーを開けないでください。
- 本機の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に本機が動きだし、思わぬ事故を起こす事があります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

本機から離れる時は

▲警告

- エンジンをかけたまま本機から離れると、不意に本機が動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。
エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 本機の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に本機が動きだし、思わぬ事故を起こす事があります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。
- マフラーに触れるとヤケドをすることがあります。
マフラーには触れないでください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブル

ルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、本機が不意に動き出して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に本機が動き出して思わぬ事故を起こす事があります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- マフラーに触れるとヤケドをすることがあります。
マフラーには触れないでください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

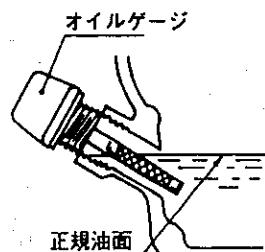
● 初めて使用する前に

初めて使用する前に次のことを行ってください。

1. エンジンオイルを点検してください。

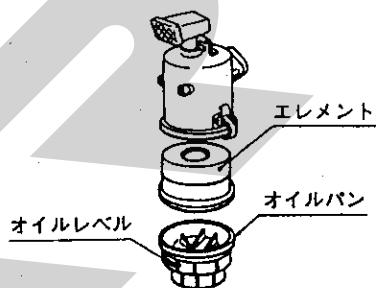
- ・エンジンオイルが規定量入っているか点検し、少ない場合は正規油面まで補充してください。
- ・オイルは下記オイルを使用してください。

自動車用 ガソリンエンジンオイル	マルチグレード シングルグレード	10W-30 30#
---------------------	---------------------	---------------



2. エアフィルタにオイルを給油してください。

- ・工場出荷時、エアフィルタにオイルは入っていません。
オイルレベルまでオイルを給油してください。
- ・オイルはエンジンオイルと同じ物を使用してください。



3. 燃料の量を点検してください。

- ・燃料タンクに燃料が入っているか、燃料ゲージにて点検し、少ない場合は補給してください。
- ・燃料タンクに注入する時はあふれさせないようにしてください。
- ・燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。

▲ 危険

- ・給油口に火気を近づけると火災になる事があります。
火気を近づけないでください。
給油中はエンジンを停止してください。

もくじ

▲

安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	3	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

●

はじめて使用する前に

1

各部の名称と運転

1 各部の名称とはたらく	9	2 運転の仕方	11
--------------	---	---------	----

2

運転を始める前の点検

1 本機の点検	13	3 給油箇所一覧表	13
2 エンジンの点検	13		

3

運搬の仕方

1 積み込み方	14	2 降ろし方	14
---------	----	--------	----

4

作業の仕方

1 本作業機の使用目的	15	3 作業要領	16
2 作業のための調整	15		

5 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 19

2 長期格納する時 19

6 点検と整備について

1 点検整備一覧表 20

2 各部の調整 21

7 不調時の対応

1 不調処置一覧表 23

8 オプション

1 キャンバスガバーアタッチメント 24

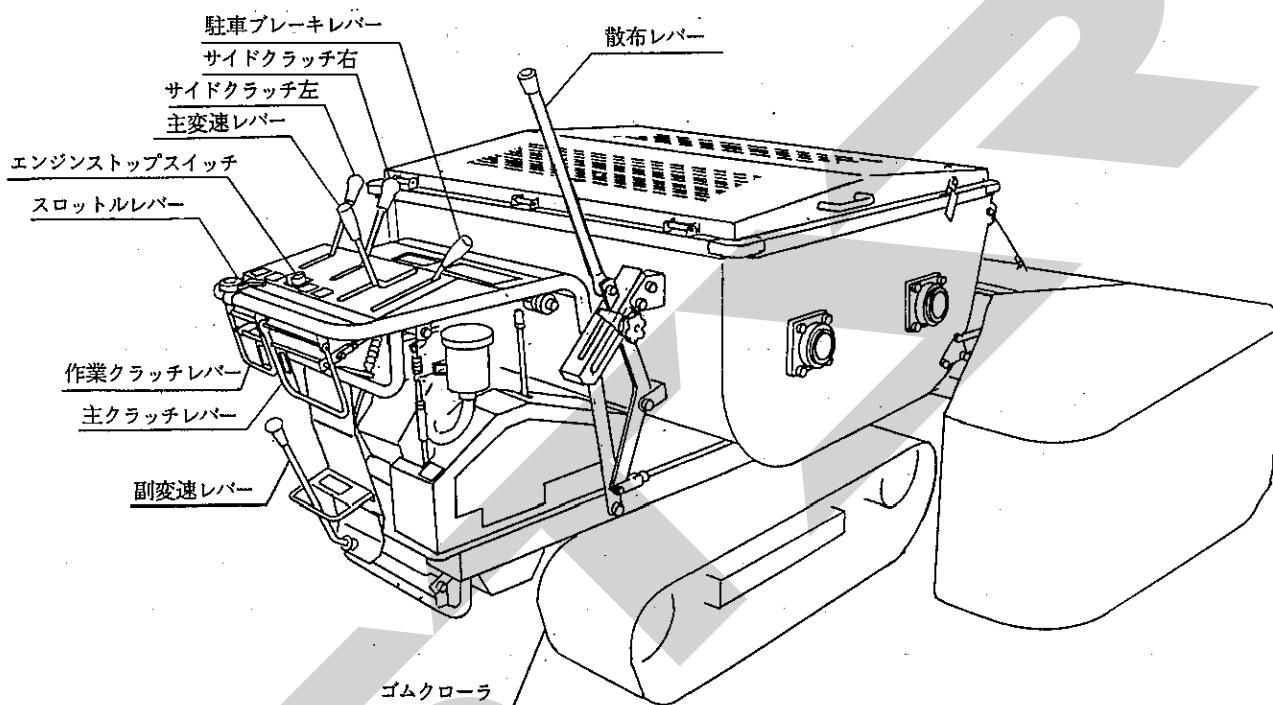
9 部品表 27

1 各部の名称と運転

適切な装着で安全な作業をしましょう。

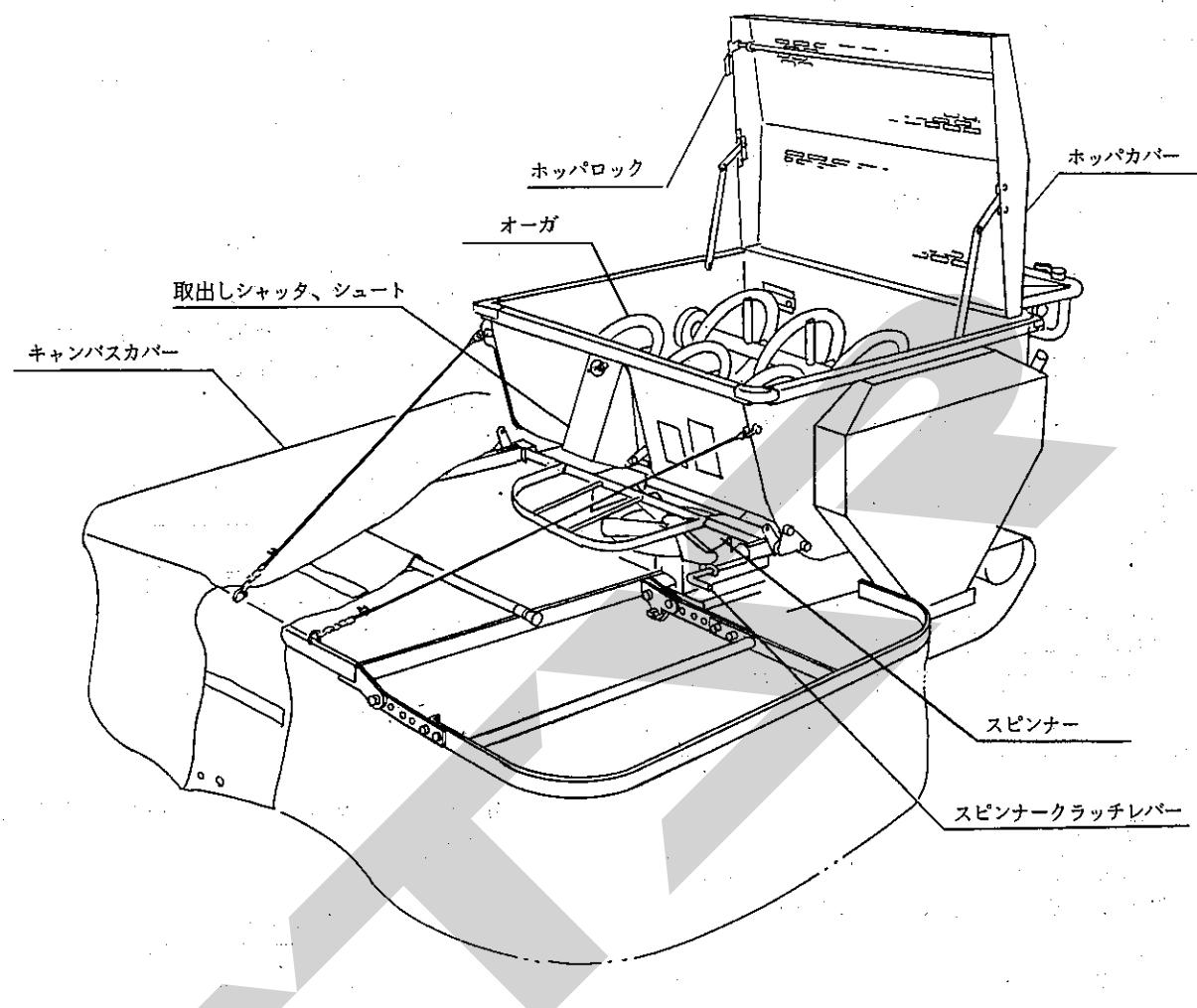
1 各部の名称とはたらき

1. 足回り



- (1) 主変速レバー
本機を前後に走行、停止させるときに使用します。
- (2) 副変速レバー
低速、高速の2段の走行速度を選択します。
- (3) サイドクラッチレバー〔右、左〕
本機を旋回させるときに使用します。
右へ旋回するときは右を、左に旋回するときは左のレバーを手前へ引きます。
- (4) 駐車ブレーキレバー
本機を駐車させるときに使用します。
- (5) スロットルレバー
エンジンの回転数を調整します。
- (6) 主クラッチレバー
本機を走行可能状態にするときに使用します。
- (7) 作業クラッチレバー
オーガおよびスピナーナーを回転、または停止させます。
- (8) エンジンストップスイッチ
エンジンを始動するとき、停止するときに使用します。
- (9) ゴムクローラ
ゴム製の走行履帶

2. 作業部



- (1) スピナーラッチレバー
スピナーラへの動力の入り切りに使用します。
- (2) 散布レバー
肥料の散布開始および終了をこのレバーの押し引きにより行います。
- (3) 取出しシャッタ、シート
混合した肥料などを取出すときに使用します。
- (4) ホッパカバー
作業中の安全のためにホッパを覆うカバー
- (5) ホッパロック
ホッパカバーの開閉とロックに使用します。
- (6) キャンバスカバー (オプション)
肥料の飛散を防止し、散布幅の調整に使用します。
- (7) オーガ
肥料の混合を行います。
- (8) スピナーラ
回転する羽根により肥料を散布します。

2 運転の仕方

- エンジンに付属された取扱説明書を熟読の上エンジンを操作してください。

▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをすることがあります。
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってください。
- 作業クラッチを切らないでエンジンを始動すると、急にオーガやスピンドルが駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
作業クラッチを切ってから始動してください。
- 急発進すると、事故を起こすことがあります。
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になることがあります。
窓や戸等を開け、十分に換気をしてください。

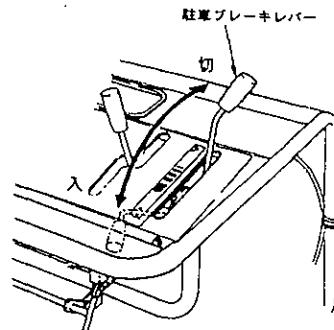
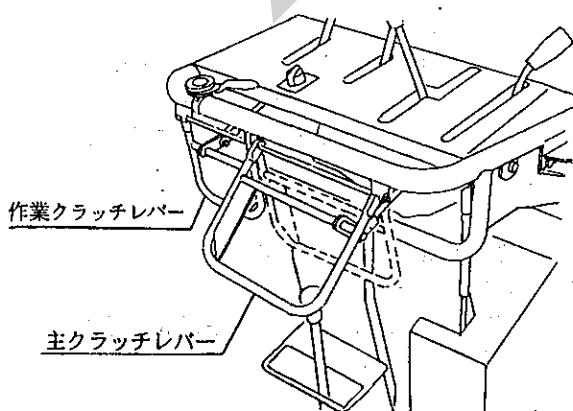
1. 走行の仕方

- 燃料の量を点検し、少ない場合は自動車用無鉛ガソリンを補給してください。

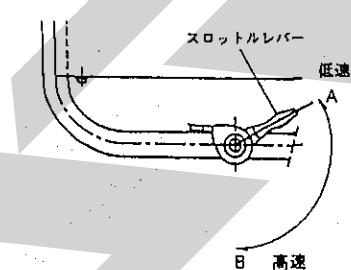
▲ 危険

- 給油口に火気を近づけると火災になることがあります。
火気を近づけないでください。
給油中はエンジンを停止してください。

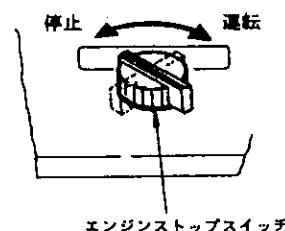
- エンジンの燃料コックを“ON”「開」の位置にします。(エンジン取説参照)
- 主クラッチレバー及び作業クラッチレバーを「切」の位置に、駐車ブレーキレバーを「入」の位置にします。



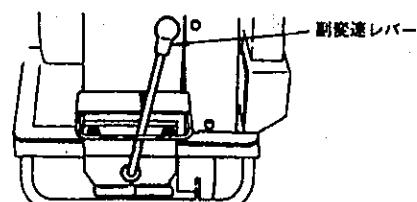
- チョークレバーを引きスロットルレバーを中回転程度の位置にします。
(エンジンが暖まっている場合は、チョークレバーはあまり使用しない…エンジン取説参照)



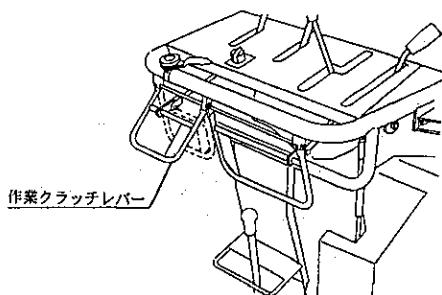
- エンジンストップスイッチを「運転」の位置にします。



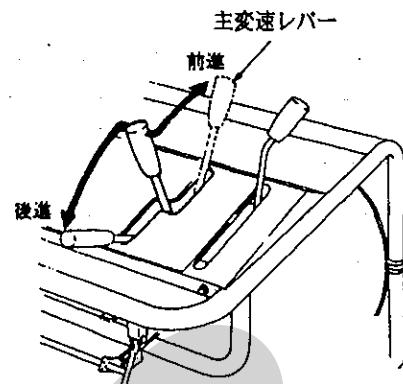
- エンジンのリコイルスタータを勢いよく引きます。(エンジン取説参照)
- エンジンが始動したらチョークレバーをもとに戻し、スロットルレバーを低回転側へ動かし暖気運転します。
エンジンが暖まっていないと、エンジンがとまってしまうことがあるので暖まってからチョークレバーを戻してください。(エンジン取説参照)
- スロットルレバーを中回転程度まで回し、エンジンの回転数を上げます。
- 副変速レバーで希望の位置に変速します。



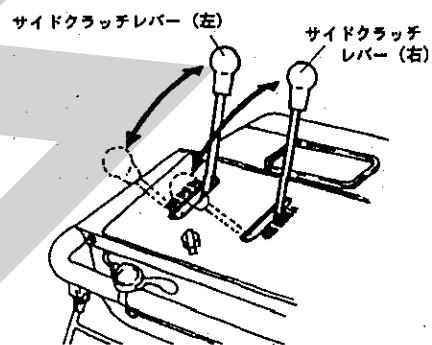
- (10) 駐車ブレーキレバーを「切」の位置にします。
- (11) 主クラッチレバーをゆっくりと「入」の位置にします。
- (12) 作業クラッチレバーをゆっくりと「入」の位置にすると、オーガおよびスピンナーが回転します。



- (13) 主変速レバーをゆっくりと前進側もしくは後進側に倒すと本機が走行します。



- (14) 右のサイドクラッチレバーを手前に引けば右旋回となり、左のレバーを手前に左に引けば左旋回となります



[作業速度]

副变速	低速				高速			
	1	2	3	4	1	2	3	4
主变速	1	2	3	4	1	2	3	4
前進	0.4	0.9	1.3	1.8	1.0	2.0	3.0	4.0
後退	0.4	0.9	1.3	1.6	1.0	2.0	3.0	3.6

*作業速度は使用条件により異なります。

単位 km/h (1800rpm)

2. 停止の仕方

- (1) 主変速レバーを「停止」の位置にし、本機の走行を停止します。
- (2) 作業クラッチレバーを「切」の位置にします。
- (3) 主クラッチレバーを「切」の位置にします。
- (4) スロットルレバーを低回転側へ動かします。
- (5) 駐車ブレーキレバーを「入」の位置にします。
- (6) エンジンストップスイッチを「停止」の位置にし、エンジンを停止させます。

- (7) エンジンの燃料コックを“O F F”「閉」の位置にします。(エンジン取説参照)

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 本機の点検

「6-1 点検整備一覧表」に基づき始業点検を行ってください。

2 エンジンの点検

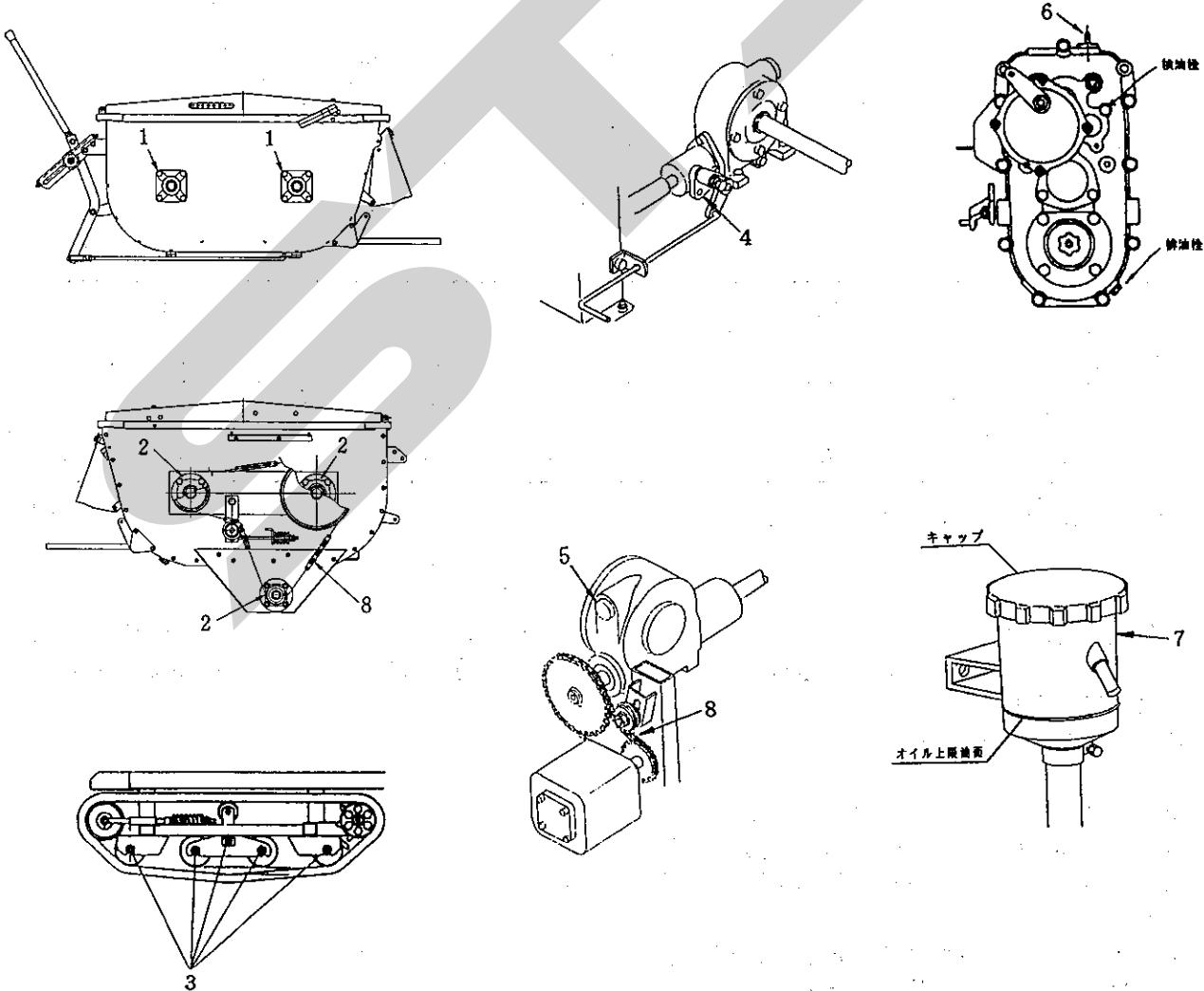
エンジンに付属された取扱説明書に基づきエンジン運転前の点検を行ってください。

▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをする事があります。
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってから始動してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。
- 排出された古いグリースは拭き取ってください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	オーガ軸受 従動側	2	グリース	使用毎	適量	給脂
2	オーガ軸受 駆動側	3	"	"	"	"
3	足回り遊動輪 左右	各5	"	"	"	"
4	スピナクラッチ	1	オイル	"	"	注油
5	ウォームボックス	1	ギヤオイル #90	使用開始50時間 その後シーズン毎	0.3ℓ	給油
6	ミッショーン	1	"	"	2.5ℓ	"
7	H S T オイル	1	自動車用ディーゼルエンジンオイル マルチグレード D10W30	適時	オイル上限 油面まで	"
8	ローラーチェーン	2	オイル	使用毎	適量	塗布

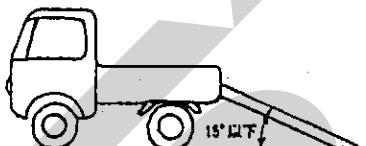
3 運搬の仕方

▲注意

- 積み下ろし時、クラッチを操作すると、急激に進路が変わり機械が転倒する事があります。
走行クラッチ及びサイドクラッチを操作しないでください。

本機の運搬は、本機の寸法および重量の積載を満足する運搬機（トラック等）を使用してください。

積込用のアユミ板は、積載荷重が0.5t以上で、本機の傾斜が15°以下となる長さ（荷台の高さの4倍以上）で幅30cm以上のものを使用してください。



1 積み込み方

- アユミ板のセット幅は、アユミ板の幅方向の中心を本機クローラ中心に合うように運搬機にかけます。

このとき、アユミ板が運搬機荷台から外れないことを確認してください。

- 本機をアユミ板に平行となるよう、低速で走行させます。

- 本機をアユミ板に載せてから運搬機に完全にのるまでは、本機の走行速度は低速で走行してください。

- 本機が運搬機に上がる瞬間が、本機のバラン

スが一番不安定となるため、十分注意が必要です。

- 本機が運搬機に完全に載ったら走行を停止してください。
- 本機が運搬機荷台上で移動しないようしっかり固定してください。
- 運搬機で本機を希望のところまで運搬します。

2 降ろし方

- 本機と運搬機とを固定していたロープを取り外し、アユミ板を「3-1 積み込み方」の(1)のようにセットします。
- エンジンを始動させます。

- 本機をアユミ板に平行となるよう、低速で走行させます。
- 本機をアユミ板に載せてから地面に完全にのるまでは、本機の走行速度は低速で走行してください。

- 本機が運搬機からアユミ板にのる瞬間が本機のバランスが一番不安定となるため、十分注意が必要です。

- 本機が地面に完全にのったら、走行を停止します。
- エンジンストップスイッチを「停止」の位置にしてエンジンを停止させます。

4 作業の仕方

1 本製品の使用目的

本製品は含水率58%以下の有機肥料、化成肥料の混合および散布に使用します。
他の用途には使用しないでください。

取り扱い上の注意

肥料中に石・木片・氷塊・ヒモなどが混入していると、本機の破損原因となることがあります。混入しないように日常から管理してください。

2 作業のための調整

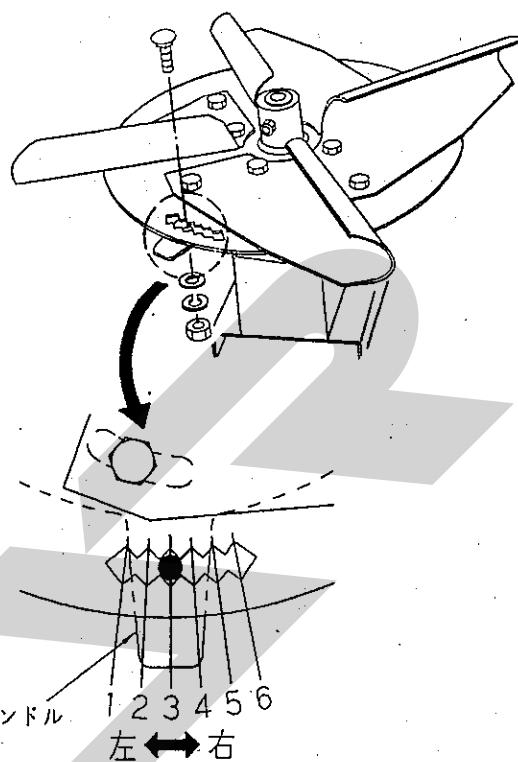
1. スピナーブレードの調整

肥料の種類、水分により散布に片寄りが発生することがあります。

その場合は、スピナーブレードの取付角度を調節してください。

- (1) スピナーブレードの位置決めをしている角根ボルトを取り外してください。
- (2) 前進方向に対して散布が右に片寄る場合は調整ハンドルを右へ、左へ片寄る場合は左へ、ハンマーで軽く打ち、ハンドルを回してください。
- (3) 角根ボルト、ナットを固定してください。
- (4) 表の調整位置を目安にして散布の片寄りを調整してください。

調節位置	1	2	3	4	5	6
肥 料	化成・粉		有機肥料			



2. 肥料別のボトムプレートの位置調整

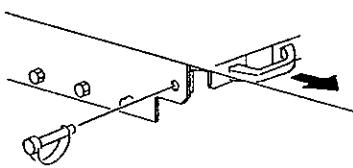
肥料の種類、水分により散布特性や落下量が異なります。

本機はボトムプレートをスライドさせることにより有機肥料用と化成肥料の落下口を選択できます。

- ・含水率58%以下の有機肥料は、Ⓐの位置にセットしてください。
- ・有機肥料の中でも低水分の物は進行方向左に散布が片寄る場合があります。
- ・その場合はⒷの位置にセットしてください。
- ・化成肥料のみの散布を行う場合はⒸの位置にセットしてください。

- (1) ボトムプレートを固定しているデルタピンを外します。
- (2) 取っ手を握り肥料に適した落下口の位置にボトムプレートをスライドさせます。
- (3) ボトムプレートの固定穴にデルタピンを差し込み、しっかりと固定してください。

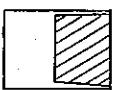
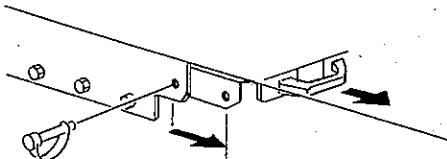
(A)



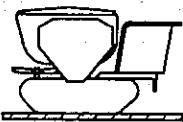
があります。

作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

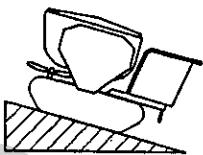
(B)



1. 最大積載量

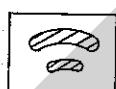
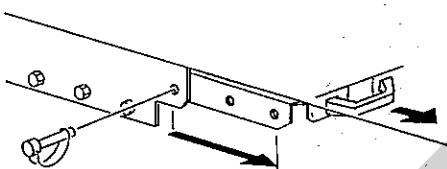


平坦地では
500kgまで



15°までの傾斜地では
400kgまで

(C)



2. ホッパカバーの開閉の仕方

▲ 警 告

- 運転中又は回転中、ホッパカバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
ホッパカバーを開けないでください。

【開くとき】

- 右手はグリップ①を、左手はグリップ②をしっかりと握ります。
- 右手でグリップ①をロック解除方向に動かし、ロックを解除します。
- ステーがホッパカバーをささえる位置まで両手で持ち上げる様にホッパカバーを確実に開いて下さい。

【閉じるとき】

閉じるときは開くときの逆の手順で行ってください。

ホッパカバーをしっかりロックしてください。

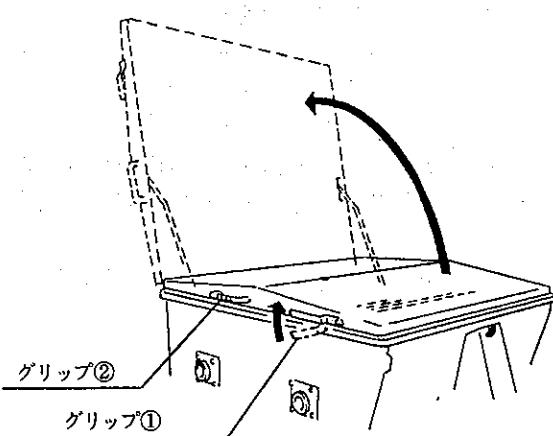
3 作業要領

▲ 警 告

- 運転中又は回転中、スピナーナに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。

▲ 注 意

- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になることがあります。
窓や戸等をあけ、十分に換気をしてください。
- 散布作業中、飛散物が当り、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事



3. 肥料混合の仕方

(1) 肥料混合の可否について

肥料は原料となる単肥の性質によって、混合してよいもの、混合したらすぐに用いるもの、混合してはいけないものがあります。

必ず肥料混合可否表を参考にして、適正な

肥料の混合を行ってください。

混合の可否が不明な場合は、肥料メーカーに安全性を確認してから混合してください。

肥料混合表（前田正男『肥料便覧・第1版』農文協）

	硫塩硝尿石 灰 チ ソ	過塙苦重 土燒 リ過リ 安安安素ソ	硫塩草 酸化木 カカ	魚骨飼堆綠 肥・油 カ粉ん肥	生消炭硫水炭ケ 岐酸イ 石石カ苦苦カ 灰灰ル土土土ル	
硫塩硝尿石 灰チソ		▲▲○× ▲▲× ▲▲× ○▲△ ×××	○×○○ ▲×△○ ▲×△○ ▲○△○ ×○×	○○× ▲△× ▲△× ▲△× ▲△○	○○▲△▲ ○○△△○ ×△××○ ▲○△△△ ○○△○○○	××△○×× ××△△× ××△△× △△△△△ ○○○○○○
過塙苦重 土燒 リ過リ ソ		○▲▲△× ×××○○ ○▲△△○ ○○○△○△	▲○○ △○○○ ○△×○ ○○○○	○△× ○○○○ ○△×○ ○○○○	○○○○○○ ○○▲△○ ○○○○○○ ○○○○○○	××△○×× △○○○○○ ×△△○×× △△△△△ ○○○○○○
硫塩草 酸化木 カカ		○▲▲△△ ○▲△△△ ×××△○	○○○○ ▲△○△ ×○○○	○○○ ○○○○ ○○○○	○○○○○○ ○○▲△○ ○○○○○○ ○○○○○○	△△△△△△ △△△△△△ ○○○○○○ ○○○○○○
魚肥・油 カ粉ん肥 キ ウ		○○×△○ ○○△○○ △△×○○ △△×△△ △△×△○	○○○○ ○○○○ ○△○○ ○△○○ ○○○○	○○○ ○○○○ ○△○○ ○○○○ ○○○○	○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○	○○○○○○ △△△△△△ ×△△○△△ ×△△○△△ ○○○○○○
生消炭 硫水炭 岐酸イ 石石カ 苦苦カ 灰灰ル 土土土 ル		×××△○ ×××△○ △△△△○ ○▲△△△ ×××△○	×△×△ ○○△× △○△○ ○△○△ ×○△△	△△○ ○△○○ ○△○○ ○△○○ ○○○○	○△×△○ ○○△△○ ○○○△○ ○○△△○ ○○△△○	○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○

注 ○印：混合してよいもの、▲印：混合したらすぐ用いるもの、×印：配合してはならないもの

(2) 混合・散布を行う場合

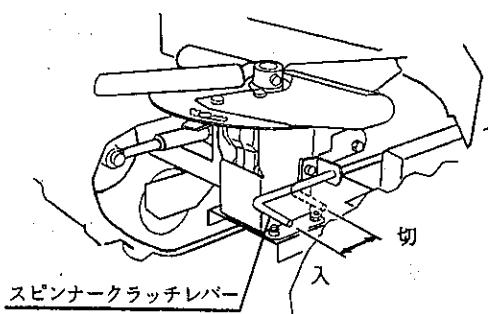
▲ 警 告

- オーガが回転している時は、スピナーラッチを「入」にすると、急にスピナーが回転し、巻き込まれケガをすることがあります。

- ① エンジンを停止してください。
 - ② 主クラッチレバー、作業クラッチレバーを「切」、主変速を停止、副変速を中立の位置にして、駐車ブレーキをかけてください。
 - ③ 散布シャッタ、取り出しシャッタを閉じてください。

- ④ ホッパカバーを開いてください。
 - ⑤ 肥料を比重の軽い物、または、全体量の多い物からホッパに投入してください。
この時、ホッパに均平になるように投入しますと早く混ざります。
 - ⑥ 肥料の投入が完了しましたら、ホッパカバーを閉じて、しっかりとロックしてください。
 - ⑦ スピナーラッチレバーを「入」の位置にします。
 - ⑧ まわりの安全を確かめた後、エンジンを始動してください。
 - ⑨ 作業クラッチを「入」にし、オーガを回転させ混合を行います。
 - ⑩ 肥料が十分に混合できましたら、主クラッチレバーを「入」にし、主变速レバーを前進または後進側に倒し、本機を作業速度で走行させます。

- ⑪ 同時に散布レバーを引き、肥料の散布を行ってください。



(3) 混合のみを行い取出口から取出す場合

▲ 警 告

- スピナークラッチを入れたまま取出口から肥料を取り出すと、スピナーナーに巻き込まれケガをすることがあります。
作業クラッチを切り、スピナークラッチを切った後、取り出し操作をしてください。

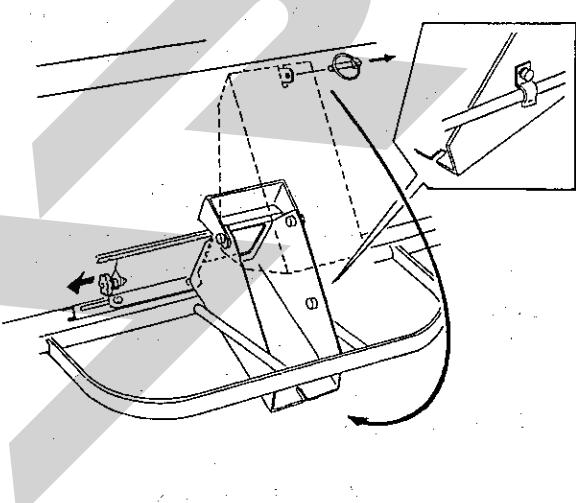
- ① エンジンを停止してください。
- ② 主クラッチレバー、作業クラッチレバーを「切」、主変速を停止、副変速を中立の位置にして、駐車ブレーキをかけてください。
- ③ 敷設シャッタ、取り出しシャッタを開じてください。
- ④ ホッパカバーを開いてください。
- ⑤ 肥料を比重の軽い物、または、全体量の多い物からホッパに投入してください。
この時、ホッパに均平になるように投入しますと早く混ざります。
- ⑥ 肥料の投入が完了したら、ホッパカバーを開じて、しっかりとロックしてください。
- ⑦ スピナークラッチレバーを「切」の位置にします。
- ⑧ まわりの安全を確かめた後、エンジンを始動してください。
- ⑨ 作業クラッチレバーを「入」にし、オガを回転させ、混合を行います。
- ⑩ 肥料の混合が終了したら、作業クラッチレバーを「切」にし、本機の取り出しシートを固定しているリンチピンをはずし、取り出しシートを作業位置にしっかりとロックしてください。
- ⑪ 取り出しシートの下に肥料を受ける容器を置き、取り出しシャッタを開きます。
- ⑫ 取り出しシャッタが開くと同時に肥料が落

下しますが、落下が不十分な場合は作業クラッチレバーを「入」にして、オガを回転させてください。

▲ 警 告

- 運転中又は回転中、取出口に手を入れると回転物に接触し、ケガをすることがあります。
手を入れないでください。

- ⑬ 容器がいっぱいになったら、取り出しシャッタを閉じてください。



5 作業が終わったら

1 作業後の手入れ

▲ 注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- マフラーに触るとヤケドをすることがあります。
マフラーには触れないでください。

1. ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか。

又、破損部品がないか確認してください。

異常があれば、ボルトの増し締め、部品の交換をしてください。

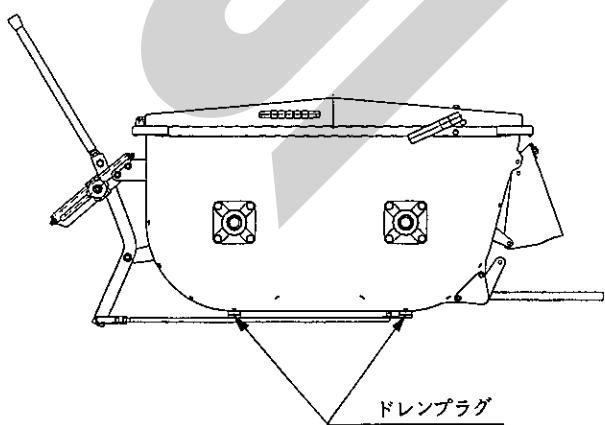
2. 作業終了後は水洗いし、ホッパ内の肥料をきれいに流してください。

ホッパ内の水抜きは、進行方向右下に付いている2ヶ所のドレンプラグを外してください。

水抜きが完了したらドレンプラグは元の位置にしっかりと差し込んでください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装または、油を塗布し、錆の発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。



6 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

時 間	チ ェ ッ ク 項 目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットの緩み	増し締め
使 用 後 50 時間	ギヤボックスのオイル	オイル交換
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ・ ホッパ内 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部油もれ ⑤各部の油脂類	肥料の清掃 補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	①ギヤボックスのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤塗装損傷部 ⑥エンジン	交換 早めの部品交換、補修 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 塗装または油塗布 「エンジン取扱説明書」に基づき点検・整備

2 各部の調整

1. ローラチェーンの張り調整

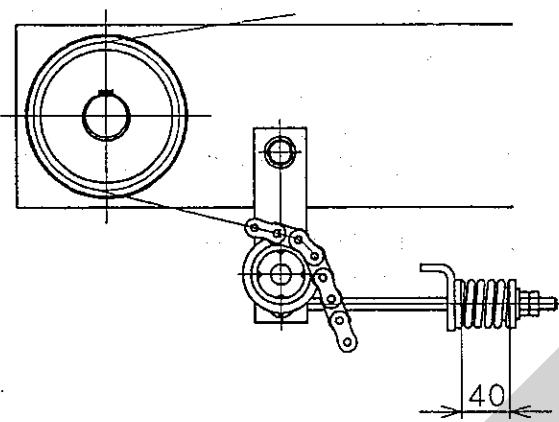
ローラチェーンは、使用するにつれて少しづつ伸びが生じます。

円滑な動力の伝達をするために、ローラチェーンの張り調整を行ってください。

特に、最初の使用では初期伸びが生じますので、使用後に必ず張り調整を行ってください。

(1) オーガ駆動部

ローラチェーンの張り調整は、スプリング長さを40mmになるようにボルト・ナットで調整してください。

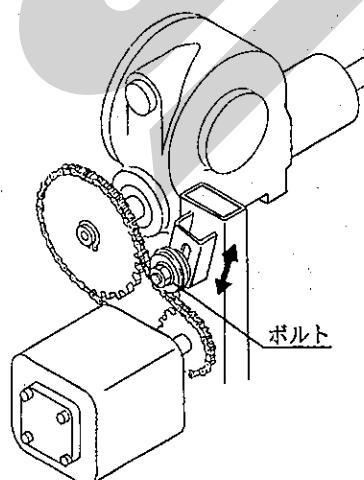


取扱い上の注意

スプリングの長さを調整したあと、ダブルナットは確実に締めてください。

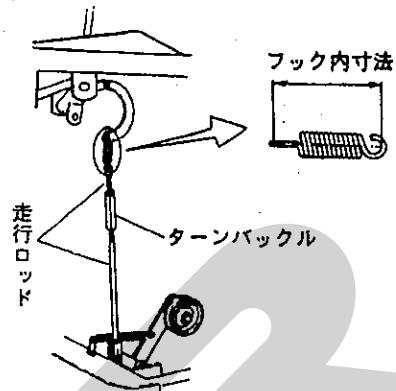
(2) ウォームボックス入力部

ボルトを緩め、テンションローラを動かしてローラチェーンの張りを調整し、ボルトを締めてください。



2. 走行ベルトの調整

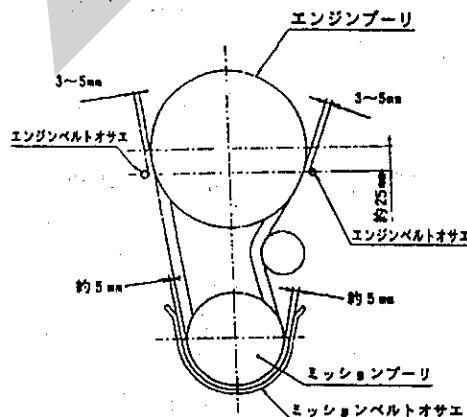
(1) 主クラッチレバーを「入」にし、スプリングフック内寸法が70~75mmになるように、走行ロッドのターンバックルで調整してください。



(2) ターンバックルで調整しきれない場合は、エンジン取り付けボルトをゆるめ、エンジンを移動させてください。

(3) ベルトに亀裂・損傷・ひび割れがある場合は、交換してください。

(4) ベルト交換やベルト調整を行った後は、主クラッチレバーを「入」にし、ベルト押さえをセットしてください。

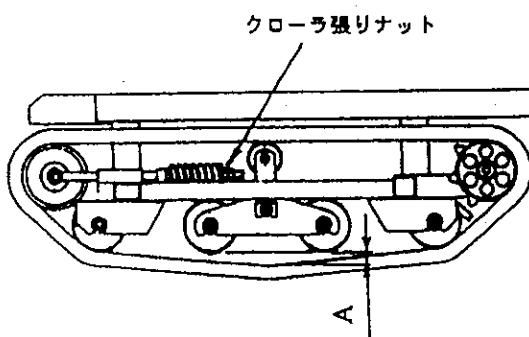


取扱い上の注意

ベルト押さえの調整を行った後は、必ず、変速レバーを中立にし、主クラッチレバーを「入」「切」した時、ベルトが完全に停止することを確認してください。

3. 足回りの調整

- (1) 片側をジャッキアップしてA寸法が10~15mmになるように、クローラ張りナットで調整してください。
- (2) 中間の遊動輪とクローラのすきまに、人差し指が入る程度をクローラ張りの目安とすると便利です。
遊動輪、クローラに亀裂、損傷、摩耗がある場合は、交換してください。



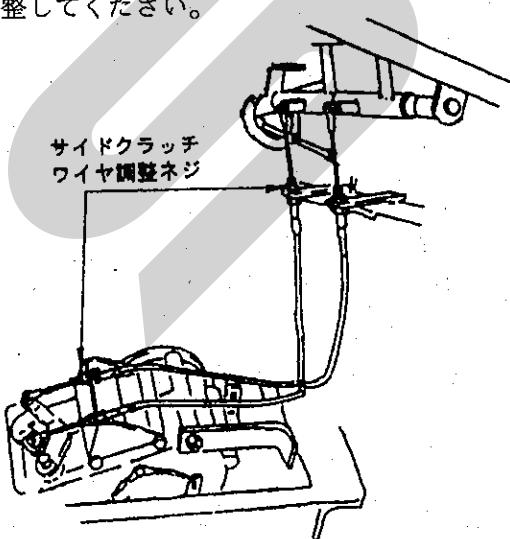
取扱い上の注意

クローラの張りが弱いと、歯飛び、脱輪の原因となり、強すぎるとクローラの切断、本機の損傷となります。

グリスアップしすぎますと、遊動輪が回転しなくなりますので、入れすぎに注意してください。

4. サイドクラッチレバーの調整

レバーの遊びが、レバー先端で3~6mmになるように、サイドクラッチワイヤ調整ネジで調整してください。

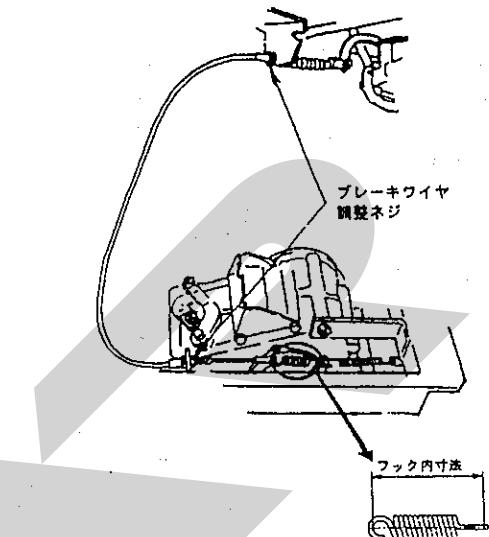


取扱い上の注意

調整を行った後は、必ずエンジンを始動させ、レバーを引いたときに本機が旋回し、離したときに旋回を中止するか確認してください。

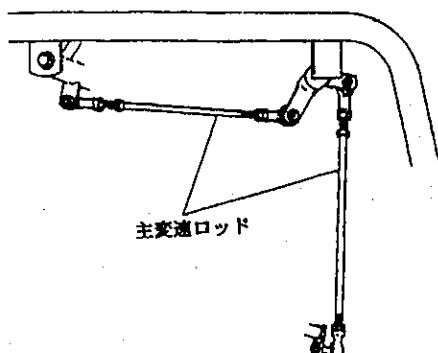
5. 駐車ブレーキレバーの調整

- (1) 駐車ブレーキレバーを「入」にし、スプリングフック内寸法が70~75mmになるように、ブレーキワイヤ調整ネジで調整してください。
スプリングのフック内寸法を70~75mmにしてもブレーキのききが甘い時は、ブレーキシューの交換をしてください。



6. 主変速レバーの調整

主変速レバーを停止の位置にし、ロッドで調整してください。



取扱い上の注意

調整を行った後は、必ずエンジンを始動させ、主変速レバーを停止の位置にしたとき、本機が完全に停止していることを確認してください。

7 不調時の対応

▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シャッタが動かない	シャッタとボトムプレートの間に肥料が詰まる	清掃
	回動支点部がさび付いている	さびを取り除きグリースを塗布する
肥料がない	使用している肥料の水分が高い	ホッパ内部を清掃し乾燥した肥料を使用する
異常音・異常振動	チェーンがゆるみスプロケットがとぶ	チェーン張り調整
走行しない	ベルトのスリップ	「6-2-2 走行ベルトの調整」に基づきベルト張り調整を行う
	ベルトの損傷、切断	「6-2-2 走行ベルトの調整」に基づきベルト交換をする
足回りよりキー音がする	遊動輪のグリース切れ	「2-3 給油箇所一覧表」に基づきグリースアップをする
旋回しない、又は戻りが悪い	クローラの張りが適切でない	「6-2-3 足回りの調整」に基づきクローラ張り調整を行う
	クローラの損傷	「6-2-3 足回りの調整」に基づきクローラ交換をする
	サイドクラッチワイヤの調整が適切でない	「6-2-4 サイドクラッチレバーの調整」に基づきサイドクラッチワイヤ調整を行う
	サイドクラッチワイヤの切断	「6-2-4 サイドクラッチレバーの調整」に基づきサイドクラッチワイヤ交換をする
	ブレーキワイヤの調整が適切でない	「6-2-5 駐車ブレーキレバーの調整」に基づきブレーキワイヤの調整を行う
ブレーキのききが甘い	ブレーキシューの摩耗	「6-2-5 駐車ブレーキレバーの調整」に基づきブレーキシューの交換をする
	ブレーキワイヤの切断	「6-2-5 駐車ブレーキレバーの調整」に基づきブレーキワイヤ交換
	主変速ロッドの調整が適切でない	「6-2-6 主変速レバーの調整」に基づき主変速ロッドの調整を行う

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製 品 名
2. 型 式
3. 製 造 番 号
4. 故 障 内 容 (できるだけ詳しく)

8 オプション

1 キャンバスカバーattachメント

比重が異なる肥料の散布、幅規制が必要な場合などは、キャンバスカバーをミキシングスプレッダに装着して使用してください。

▲ 注意

- キャンバスカバーを着脱・調整する時、本機のエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意に本機が動いたりして事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて行ってください。

1. キャンバスカバーの組立・装着

(1) 解 槍

木枠に固定している部品をほどき、必要部品が揃っているか確認してください。

(2) 組 立

① メインフレームにフレームL、Rを組付けてください。

連結部分は動くように調節してください。

② 敷用量が2.2m～2.5mの範囲のときは、延長部分（プレート、アングル）を使用しますので、組付けてください。

組付け方法は「散布幅の調整方法」を参照してください。

③ メインフレームのフック部をスピナーガードに引っかけ、頭付ピンを差し込みベタピンで固定してください。

④ キャンバスBをメインフレームに組付けてください。

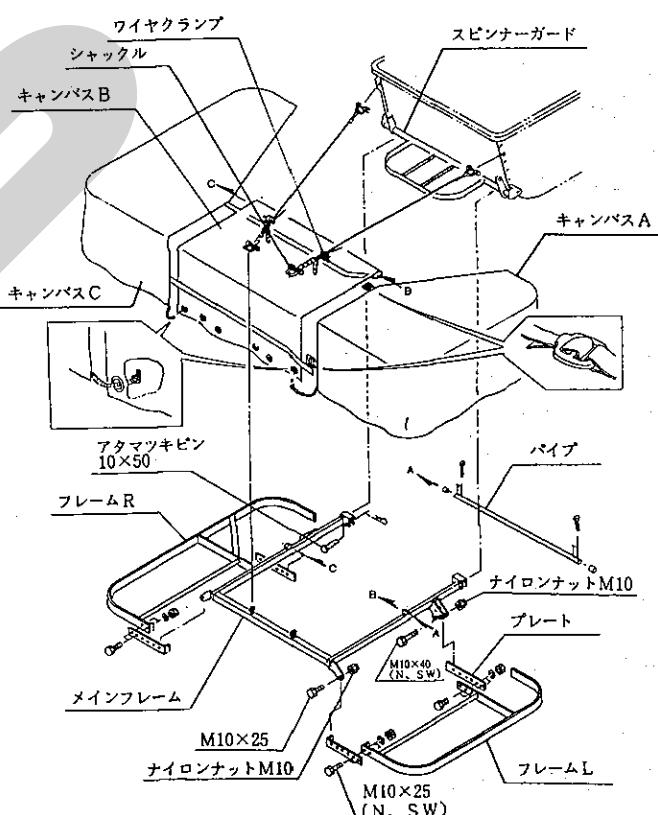
図の様にパイプをキャンバスBとメインフレームに通し、ワリピン、キャップの順に組付けます。

キャンバスBに付いているヒモでメインフレームに固定します。

⑤ メインフレームが地面に水平になるよう、ワイヤーリンクチェーンでつり下げてください。

⑥ キャンバスAとCをフレームL、Rに組付けてください。キャンバスに付いているヒモでフレームに固定します。

⑦ キャンバスAとCをベルトにつなぎ、たるみを取り、下部に縫い付けてあるロープをキャンバスBのハトメに通し、ばたつかない様に玉結びを作ります。



2. キャンバスカバーの折りたたみ方法

(1) 側方部の折りたたみ方

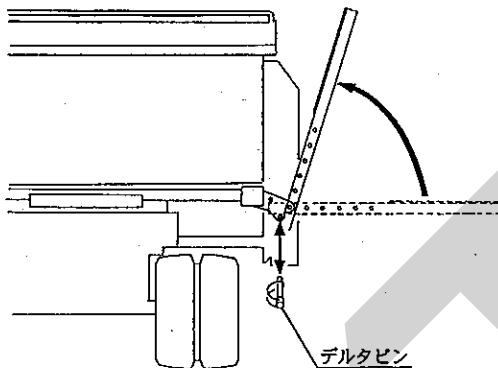
狭い場所での移動やハウスに入り出す時に、左右のフレームを上方に折りたたむことができます。

[折りたたみ方]

- ① 固定用のデルタピンを外します。
- ② 左、右フレームをゆっくりと持ち上げます。
- ③ デルタピンを元の位置に戻し、折たたんだ状態で固定します。

[開き方]

- ① 折たたんだ状態の左、右のフレームを手で支え、急に開かないように注意します。
- ② 固定用のデルタピンを外し、フレームをゆっくりと開きます。
- ③ デルタピンは元の位置に戻してください。



実際にデルタピンを両方の穴に通し、キャンバスカバーを固定してください。

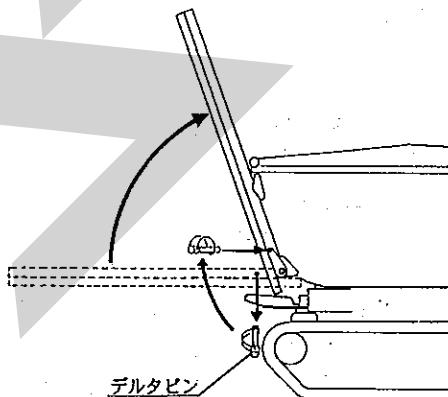
[開き方]

- ① キャンバスカバーが倒れないように支えます。
- ② キャンバスカバーを固定しているデルタピンを外します。
- ③ ゆっくりと降ろし、デルタピンをメインフレームの穴に戻します。

取扱い上の注意

キャンバスカバーを持ち上げた状態では前方の視界が悪いので前進の操作は行わないでください。

また、後進する時も低速で行ってください。



取扱い上の注意

折りたたむ時はキャンバスが、フレームの連結部分に挟まったり、引っ掛からないように十分注意してください。

キャンバスカバーの折たたみは移動時のみとし、作業クラッチは「切」にしてください。

スピナーナーが回転しているとキャンバスに接触して機械を破損することがあります。

(2) 前方部の折たたみ方

格納時や運搬機（トラック等）による移動時に、キャンバスカバー全体を上方に折たたむことができます。

[折たたみ方]

- ① メインフレームについているデルタピン2本を外してください。
- ② キャンバスカバー全体を本機側へ持ち上げます。
- ③ メインフレームの穴とスピナーガードのステーの穴が合う位置まで持ち上げ、確

3. 散布幅の調整

キャンバスカバーを使用すると、2.0～2.5mの範囲で散布幅の調整ができます。

出荷時は2.2mに調整してあります。

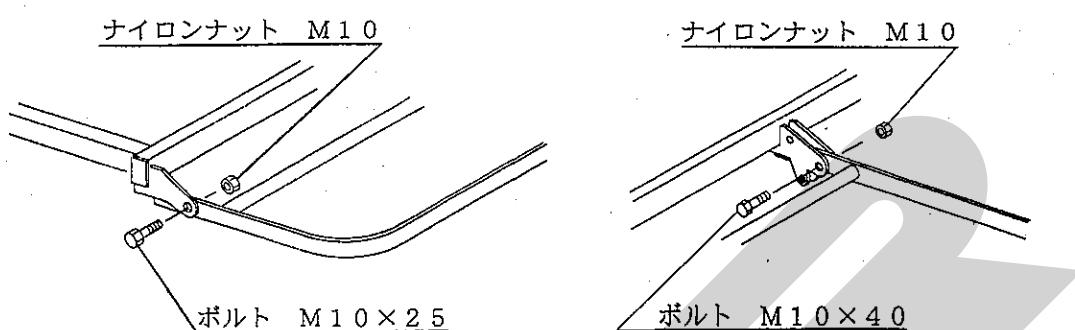
2.0m～2.1mに調整する場合は、延長部品（プレート・アングル）を取りはずしてください。

延長部品は大切に保管してください。

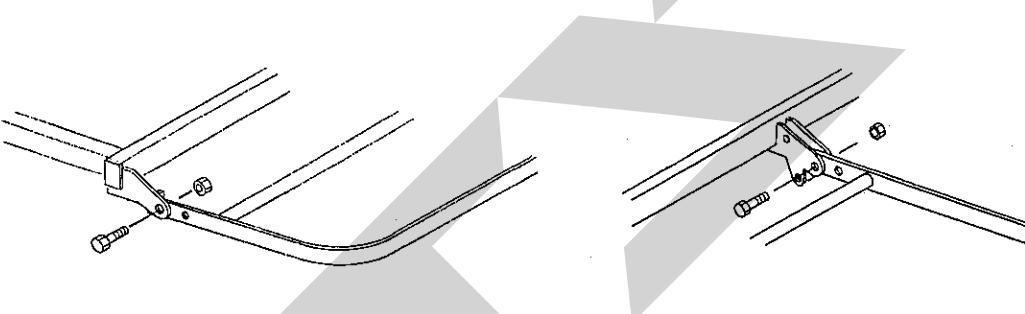
調整方法は図を参照してください。

(1) 2.0～2.1mの調整

① 2.0mに調整する時

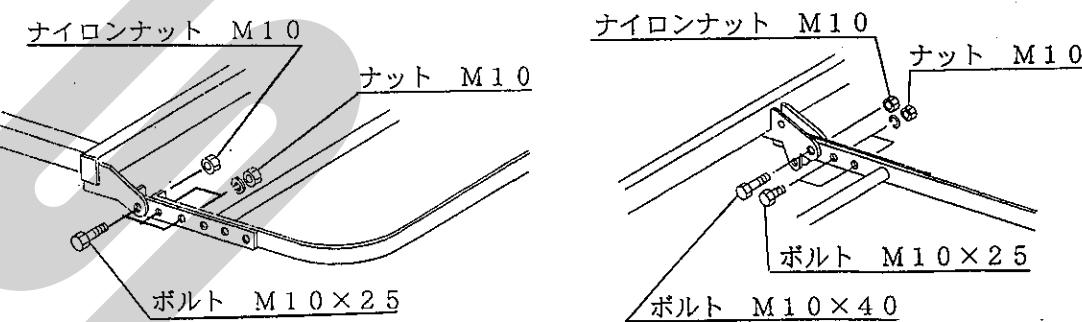


② 2.1mに調整する時

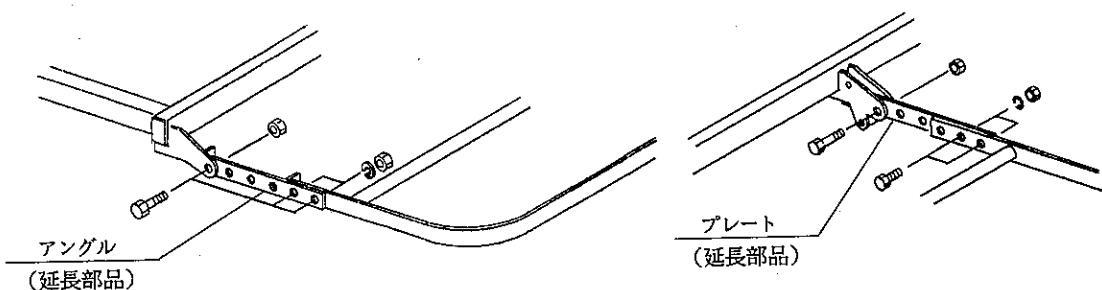


(2) 2.2～2.5mの調整

① 2.2m（出荷時）に調整する時



② 2.5mに調整する時



9 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください。）
- ④ 部品番号（　　〃　　）
- ⑤ 個数（　　〃　　）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

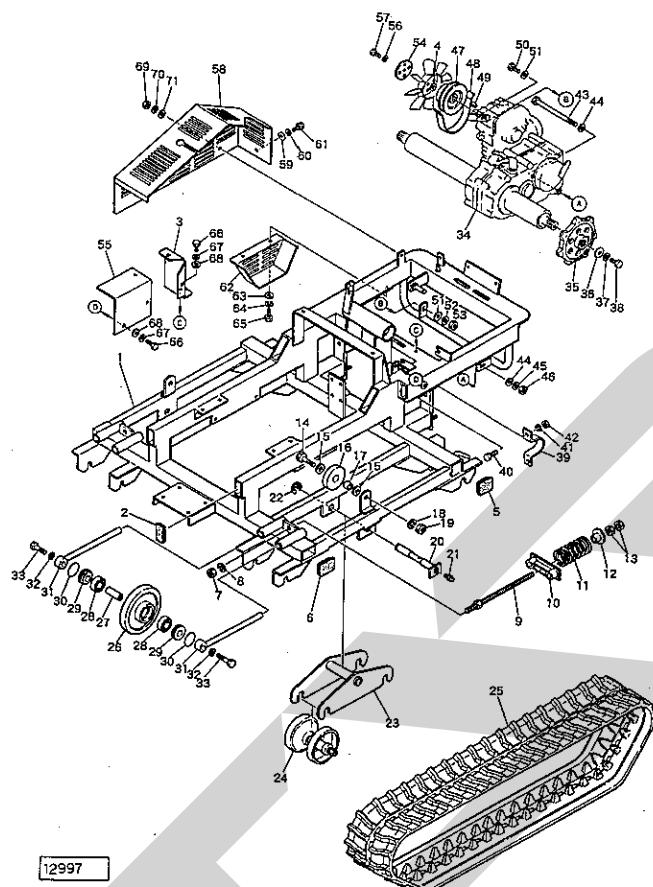
- …シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。
- …アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

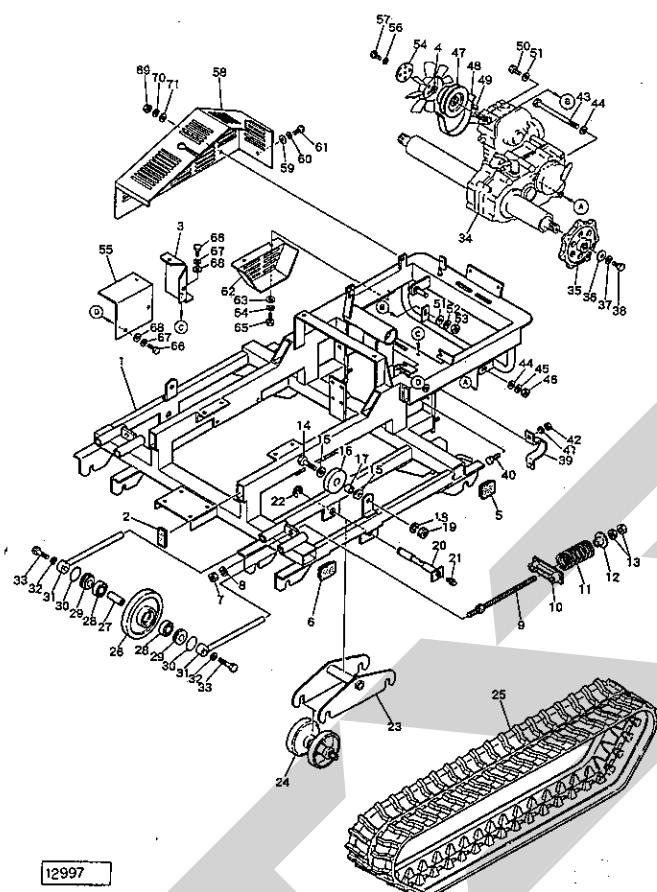
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

JXS0510 ミキシングスプレッダ
アシマワリ

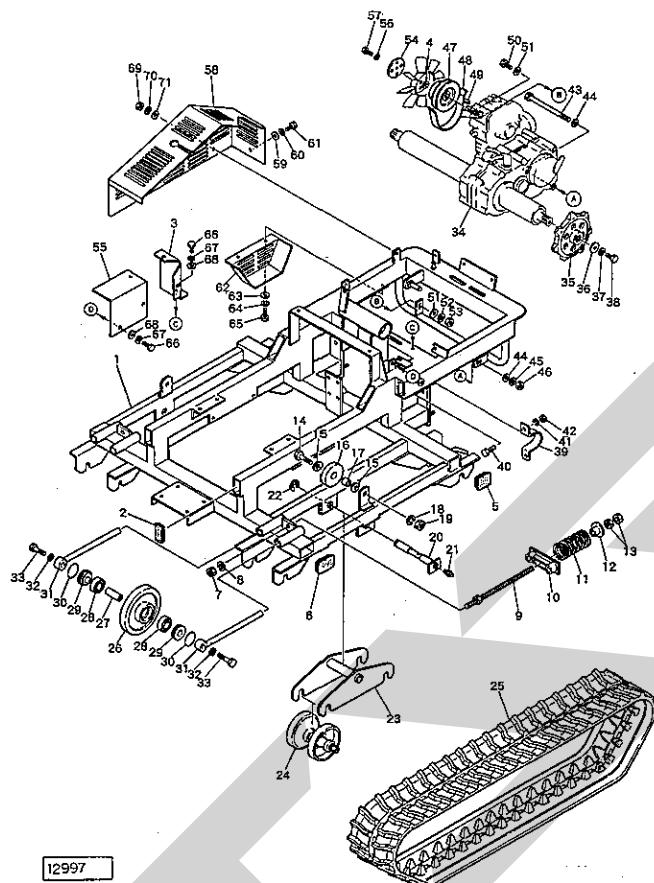


JXS0510 ミキシングスプレッダ アシマワリ



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	HL6331530000	前輪	2	
27	HL6061540000	前輪軸	2	
28	J6204LLU	ボールベアリング 6204LLU	4	
29	HL6066511000	防塵カラー	4	
30	ORG045	○リング G-45	4	
31	6061410000	クローラ張りロット	4	
32	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	8	
33	BZI12045	ボルト 8.8 ゼン M12×45	4	
34	HL86960070	ミッション CM62D4	1	
35	HL6030020000	スプロケット 7T	2	
36	HL6030201000	座金	2	
37	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
38	BA10020	ボルト 4.6 M10×20	2	
39	HL6501230000	ホーシング押エ金具	2	
40	BA12035	ボルト 4.6 M12×35	4	
41	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	4	
42	NA12	ナット 4 2シュー M12	4	
43	BA10160	ボルト 4.6 M10×160	1	
44	WRA10	ヒラザガネ M10	2	
45	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	1	
46	NA10	ナット 4 2シュー M10	1	
47	HL8272300000	ミッション入力軸ブーリー	1	
48	HL0890120100	ベルトオサエ (ミッション)	1	
49	KFC05050300	ヘイコウキー リョウマル 5×5×30	1	
50	BA08025	ボルト 4.6 M8×25	1	

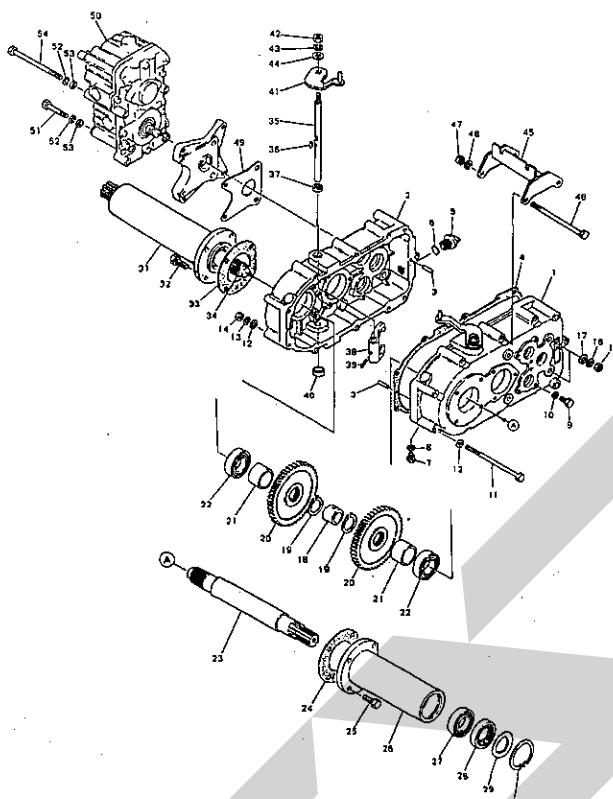
JXS0510 ミキシングスプレッダ アシマワリ



見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	備 考
51	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
52	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
53	NA08	ナット 4 2シュ M8	1	
54	HL8272200010	座金	1	
55	HL2801120400	カバー (ベルト C)	1	
56	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	5	
57	BA06016	ボルト 4.6 M6×16	5	
58	HL2801120000	カバー (ベルト ; A)	1	
59	HL7022200010	座金	1	
60	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
61	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
62	HL2801120200	カバー (ミッションブーリー)	1	
63	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
64	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
65	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
66	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	4	
67	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
68	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
69	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
70	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
71	WRA08	ヒラザガネ M8	2	

JXS0510 ミキシングスプレッダ

ミッション(1)

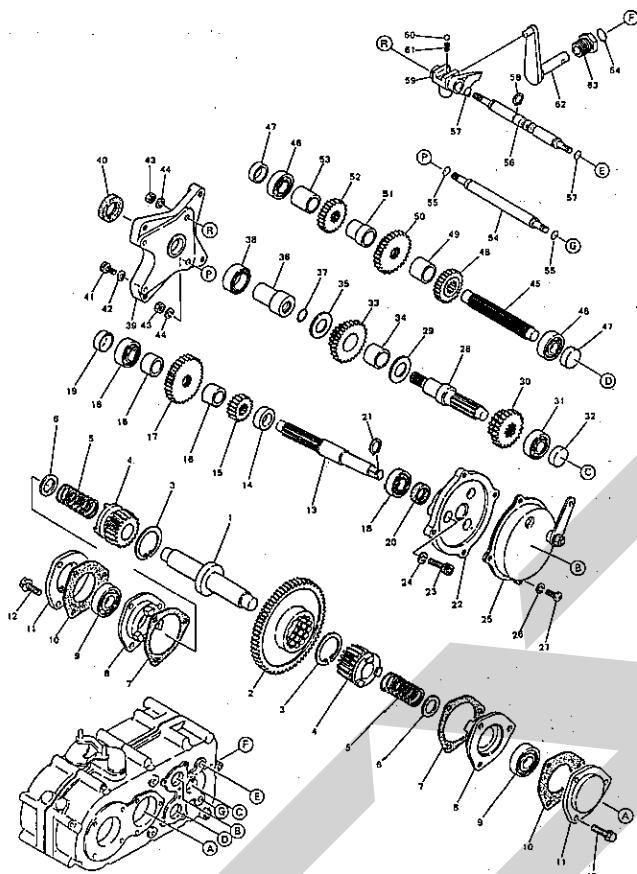


12998

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL6987020000	ミッションケース(右)	1	
2	HL6987020100	ミッションケース(左)	1	
3	HL6036500520	平行ピン φ5×20	2	
4	HL9997060000	パッキン(ミッションケース)	1	
5	HL9997060200	給油栓(穴なし)	1	
6	ORP018	Oリング P-18	1	
7	BA08012	ボルト 4.6 M8×12	1	
8	HL0025100008	シールワッシャ M8	1	
9	BA08012	ボルト 4.6 M8×12	1	
10	HL0025100008	シールワッシャ M8	1	
11	BA08130	ボルト 4.6 M8×130	7	
12	WRA08	ヒラザガネ M8	14	
13	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	7	
14	NA08	ナット 4 2シュ M8	7	
15	NAC08	ナット 4 3シュ M8	2	
16	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
17	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
18	HL9997620200	カラーA(車軸センター)	1	
19	DC030	Cガタトメワ ジク 30	2	
20	HL9997620100	車軸ギヤ 47T	2	
21	HL9997620300	カラーB(車軸)	2	
22	J6006	ボールベアリング 6006	2	
23	HL6967620000	車軸(右)	1	
24	HL9997660000	パッキン(車軸ケース)	1	
25	BSPZ10025	コガタ SW ツキボルト 7 M10×25	4	

JXS0510 ミキシングスプレッダ ミッション(1)

JXS0510 ミキシングスプレッダ ミッション(2)

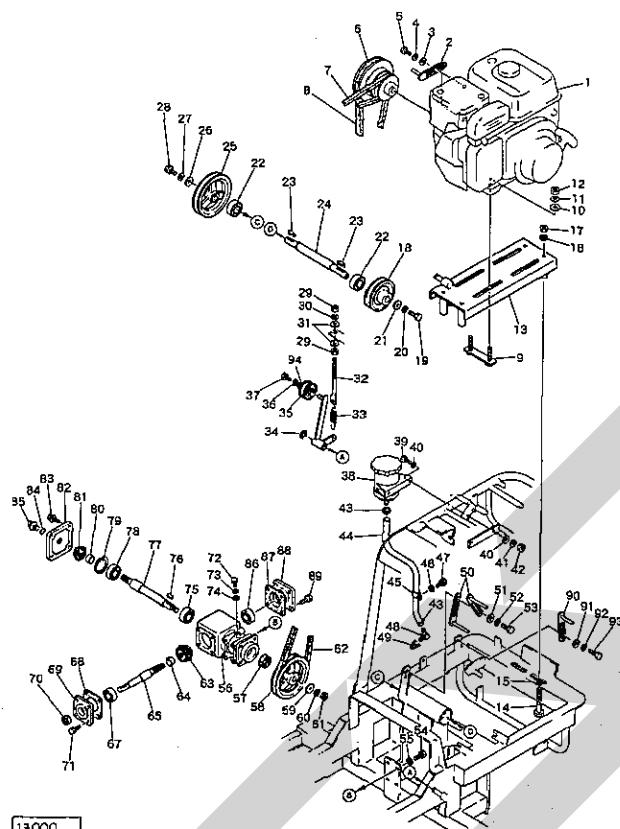


12999

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL9997520000	サイドクラッチ軸	1	
2	HL9997520100	クラッチギヤ 61T	1	
3	DHC042	Cガタトメワ アナ 42	2	
4	HL9997520200	クラッチギヤ 17T	2	
5	HL9997520600	スプリング(クラッチ軸)	2	
6	HL9997520500	カラーH(クラッチ軸)	2	
7	HL9997560000	パッキン(サイドクラッチカバー)	2	
8	HL9997520300	サイドクラッチツメ	2	
9	J6004	ボールベアリング 6004	2	
10	HL9997560100	パッキン(サイドクラッチカバー)	2	
11	HL9997520400	カバー(クラッチ軸)	2	
12	BSPZ08025	コガタ SW ツキボルト 7 M8×25	6	
13	HL7997220000	ブレーキ軸	1	
14	HL7997220100	カラーC(ブレーキ軸)	1	
15	HL7997220600	二軸ギヤ 15T	1	
16	HL6997220000	カラーA(ブレーキ軸)	2	
17	HL9997220200	ロギヤ 27T	1	
18	J6003	ボールベアリング 6003	2	
19	KRCA2807	シールキャップ EZ0036A0	1	
20	UE17287	オイルシール UE17287	1	
21	DC015	Cガタトメワ ジク 15	1	
22	HL9997220900	ブレーキホルダ	1	
23	BH06030	キャップB 10.9 M6×30	3	
24	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	3	
25	HL9997260000	ブレーキ ASSY	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ ミッション(2)

JXS0510 ミキシングスプレッダ デンタツ

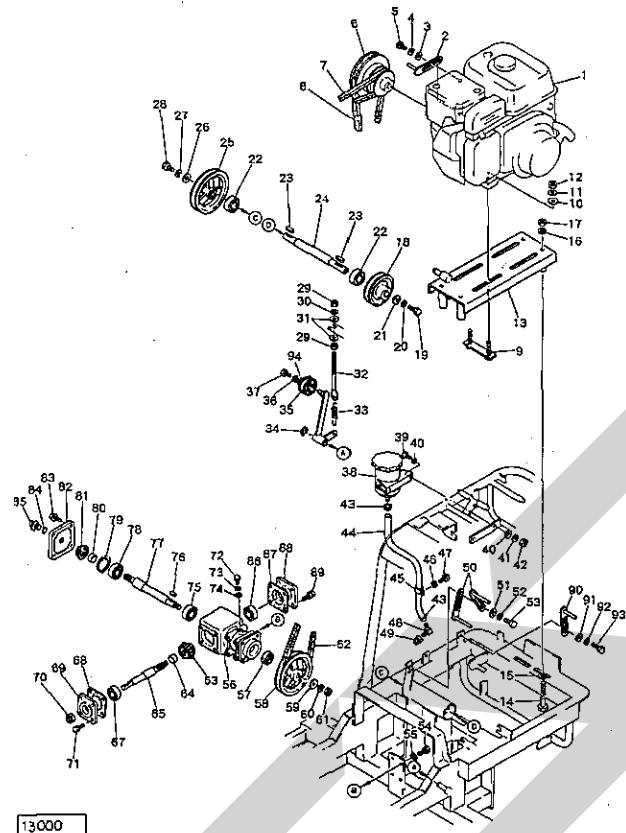


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL2802260000	エンジン GM18ILN メイキ	1	
2	HL6062370010	ベルトオサエ	2	
3	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
4	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
5	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
6	HL2802220100	エンジンブーリー	1	
7	VLB034	Vベルト LB-34	1	
8	VLB030	Vベルト LB-30	1	
9	HL7442070000	エンジン取付ボルト	2	
10	WRA08	ヒラザガネ M8	4	
11	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
12	NA08	ナット 4 2シュー M8	4	
13	HL2802220000	エンジンベース	1	
14	BA10090	ボルト 4.6 M10×90	4	
15	WRA10	ヒラザガネ M10	4	
16	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
17	0020100010	ナット SS41 M10	4	
18	HL2802120200	ブーリー(カウンター出力)	1	
19	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
20	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
21	HL4232201100	座金	1	
22	J6204LLU	ボールベアリング 6204LLU	2	
23	KFC05050250	ヘイコウキー リョウマル 5×5×25	2	
24	HL2802120100	シャフト(カウンター)	1	
25	HL2802120000	ブーリー(カウンター入力)	1	

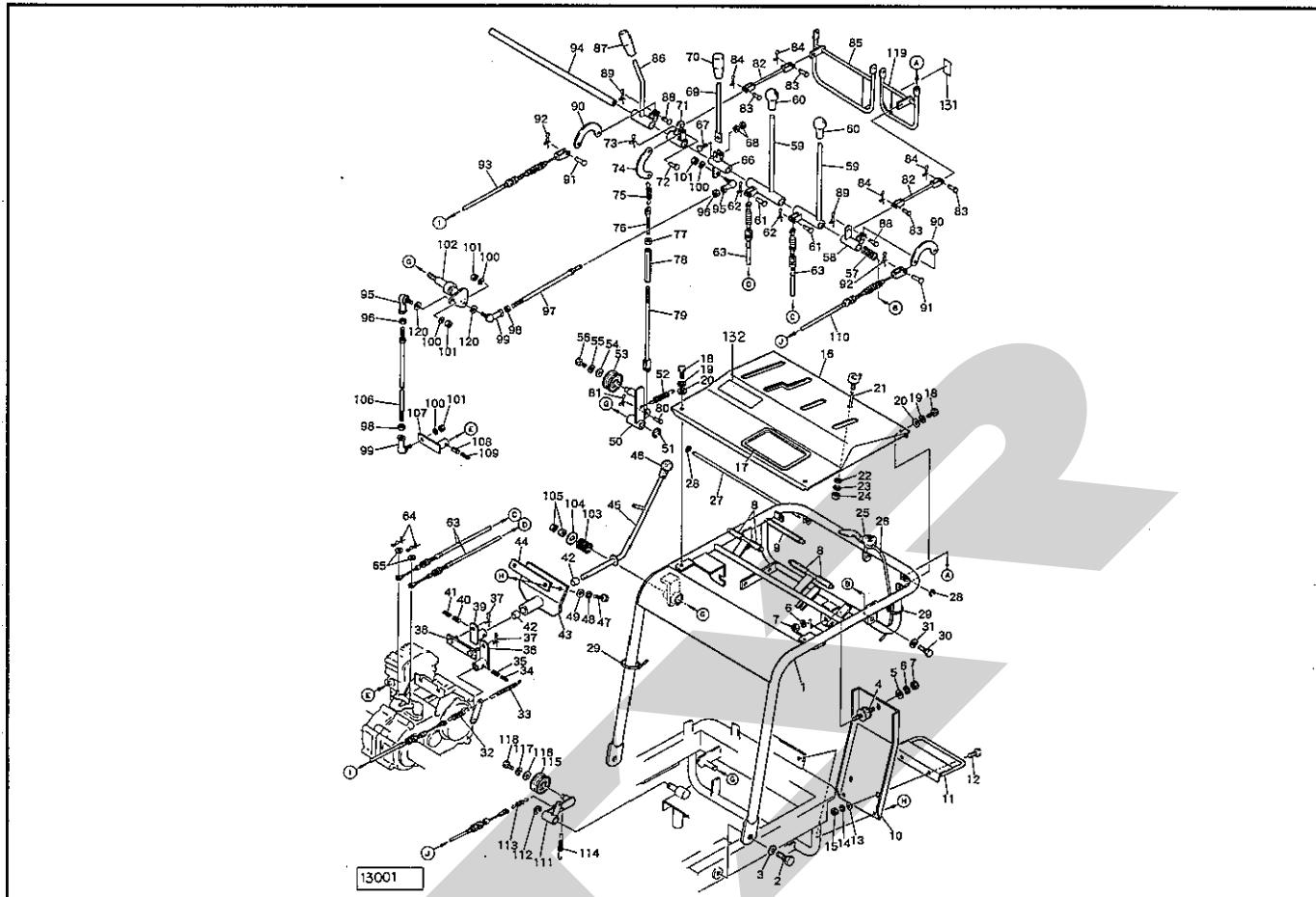
JXS0510 ミキシングスプレッダ デンタツ

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	HL4232201100	座金	1	
27	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
28	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
29	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
30	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
31	WRA08	ヒラザガネ M8	1	
32	HL2802120500	ロッド (スプリング)	1	
33	HL6062105000	引張スプリング	1	
34	DE012	Eガタトメワ 12	1	
35	HL6066110000	テンションブーリー 55T1本掛	1	
36	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	1	
37	BA06014	ボルト 4.6 M6×14	1	
38	HL2804060100	エキスパンションタンク	1	
39	BA06020	ボルト 4.6 M6×20	2	
40	WRA06	ヒラザガネ M6	4	
41	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	2	
42	NA06	ナット 4 2シュ M6	2	
43	HL0500003002	B型バンド φ25	2	
44	HL2804060000	ホース (HST)	1	
45	HL6396550000	クランプ 1698 穴付	1	
46	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
47	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
48	HL2804060300	オス90° ホースコネクター	1	
49	HL2804060200	SAE Oリングボスマスコネクター	1	
50	HL6062370000	ベルトオサエ	2	
51	WRA08	ヒラザガネ M8	1	
52	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
53	BA08020	ボルト 4.6 M8×20	1	
54	BA08025	ボルト 4.6 M8×25	4	
55	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
56	HL7273390000	ベベルケース	1	
57	HL0600000022	オイルシール MOD254317	1	
58	HL2802120400	ブーリー (ベベルケース入力)	1	
59	WRA16	ヒラザガネ M16	1	
60	WSA16	バネザガネ 3ゴウ M16	1	
61	NA16150	ナット 4 2シュ M16×1.50	1	
62	VLB035	Vベルト LB-35	1	
63	HL7276181000	ベベルギヤ20T (右)	1	
64	HL7273048010	カーラー (ロークリー入力軸)	1	
65	HL7273157000	ロークリー入力軸	1	
67	J6204	ボールベアリング 6204	1	
68	HL7276240010	パッキン	1	
69	HL7273140010	ベベルケースフタ (右)	1	
70	UE20358	オイルシール UE20358	1	
71	BSPZ08020	コガタ SWツキボルト 7 M8×20	4	
72	BA08012	ボルト 4.6 M8×12	1	
73	WRA08	ヒラザガネ M8	1	
74	HL0025100008	シールワッシャー M8	1	
75	J6205	ボールベアリング 6205	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ デンタツ

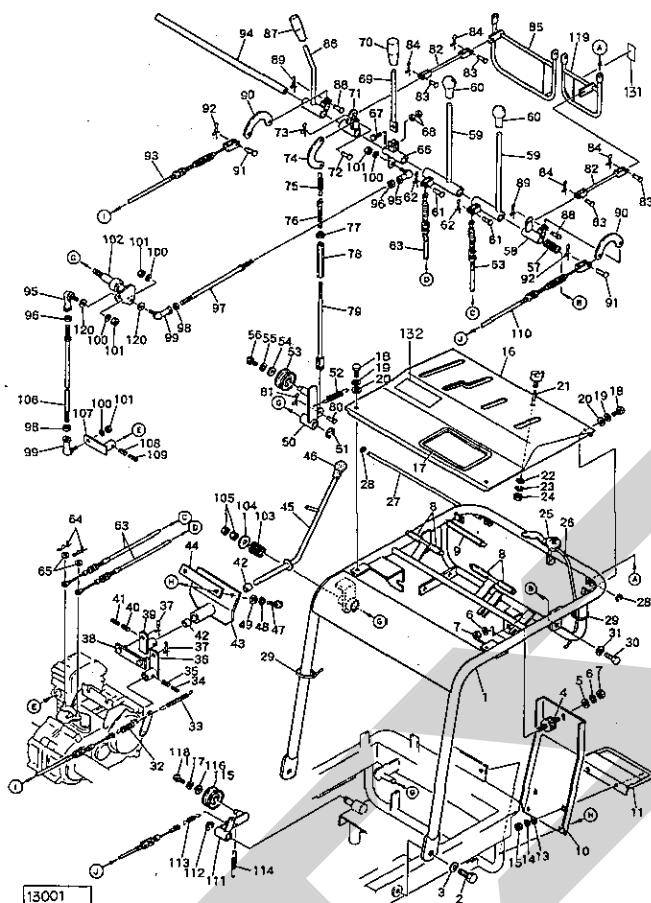


JXS0510 ミキシングスプレッダ
ソウサ



見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	備 考
1	HL2806020000	ハンドル	1	
2	BA10025	ボルト 4.6 M10×25	2	
3	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
4	HL7906204000	防振ゴム	1	
5	WRA10	ヒラザガネ M10	1	
6	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
7	NA10	ナット 4 2シュー M10	2	
8	HL6085007095	ゴムホース φ9.5×50	4	
9	HL6085007095	ゴムホース φ9.5×130	1	
10	HL0856020800	ステー(ハンドル)	1	
11	HL0856020900	ガイドバン(チェンジ)	1	
12	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
13	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
14	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
15	NA08	ナット 4 2シュー M8	2	
16	HL0896020100	プレート(レバーガイド)	1	
17	HL362-01984	トリム (62-16-B-5)	1	
18	BA06012	ボルト 4.6 M6×12	4	
19	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	4	
20	HL6066070000	平座金	4	
21	HL0852260100	ハーネス(E/Gストップスイッチ)	1	
22	WRA08	ヒラザガネ M8	7	
23	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	7	
24	NAC08	ナット 4 3シュー M8	1	
25	HL6066132000	スロットルレバー	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ
ソウサ

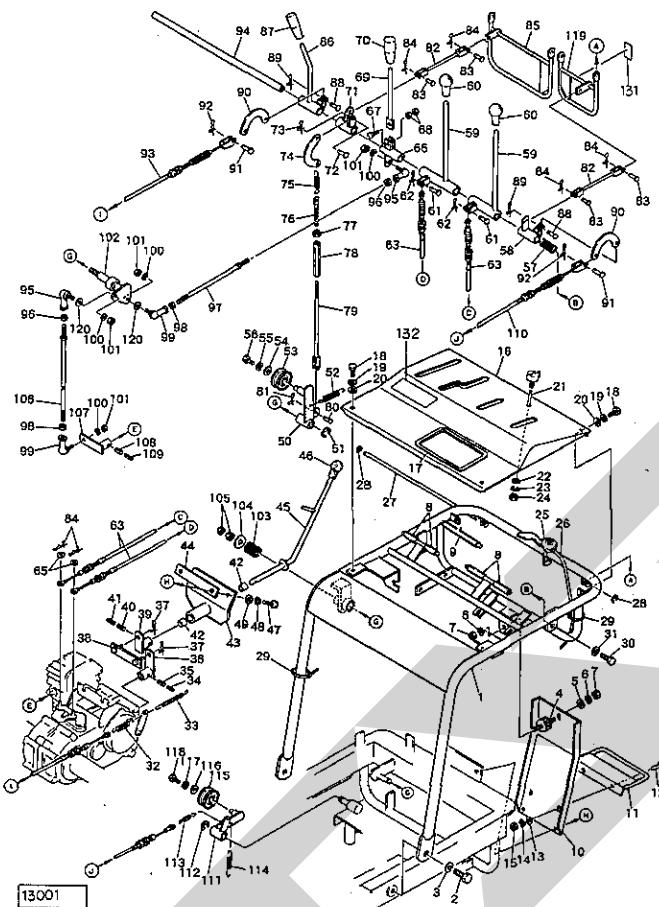


見出番号	部品番号	部品名	個数	備考
26	HL6066043000	スロットルA (27R031S)	1	
27	HL2806420200	シャフト	1	
28	DE004	Eガタトメワ 4	2	
29	HL0329060000	インシュロックタイ RT60S160	5	
30	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
31	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
32	HL6062105000	スプリング	1	
33	HL6062104000	スプリング	1	
34	PS030025W	スプリングピン ダブルヨウ 3×25	1	
35	PS050025W	スプリングピン ダブルヨウ 5×25	1	
36	HL0890120000	リンクA(チェンジ)	1	
37	HL0031199008	ストッパー松葉ピン φ8用	2	
38	HL0890120400	ロッド(チェンジ)	1	
39	HL0890120300	リンクB(チェンジ)	1	
40	PS050025W	スプリングピン ダブルヨウ 5×25	1	
41	PS030025W	スプリングピン ダブルヨウ 3×25	1	
42	MB1415DU	ドライベアリング MB1415DU	2	
43	HL0850120900	ブラケット(チェンジ)	1	
44	HL0850121000	スペーサ(チェンジ)	1	
45	HL0850120800	レバー(チェンジ)	1	
46	HL036030000	グリップ φ14用 黒	1	
47	BA08030	ボルト 4.6 M8×30	2	
48	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
49	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
50	HL0896020900	テンションアーム(走行)	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ ソウサ

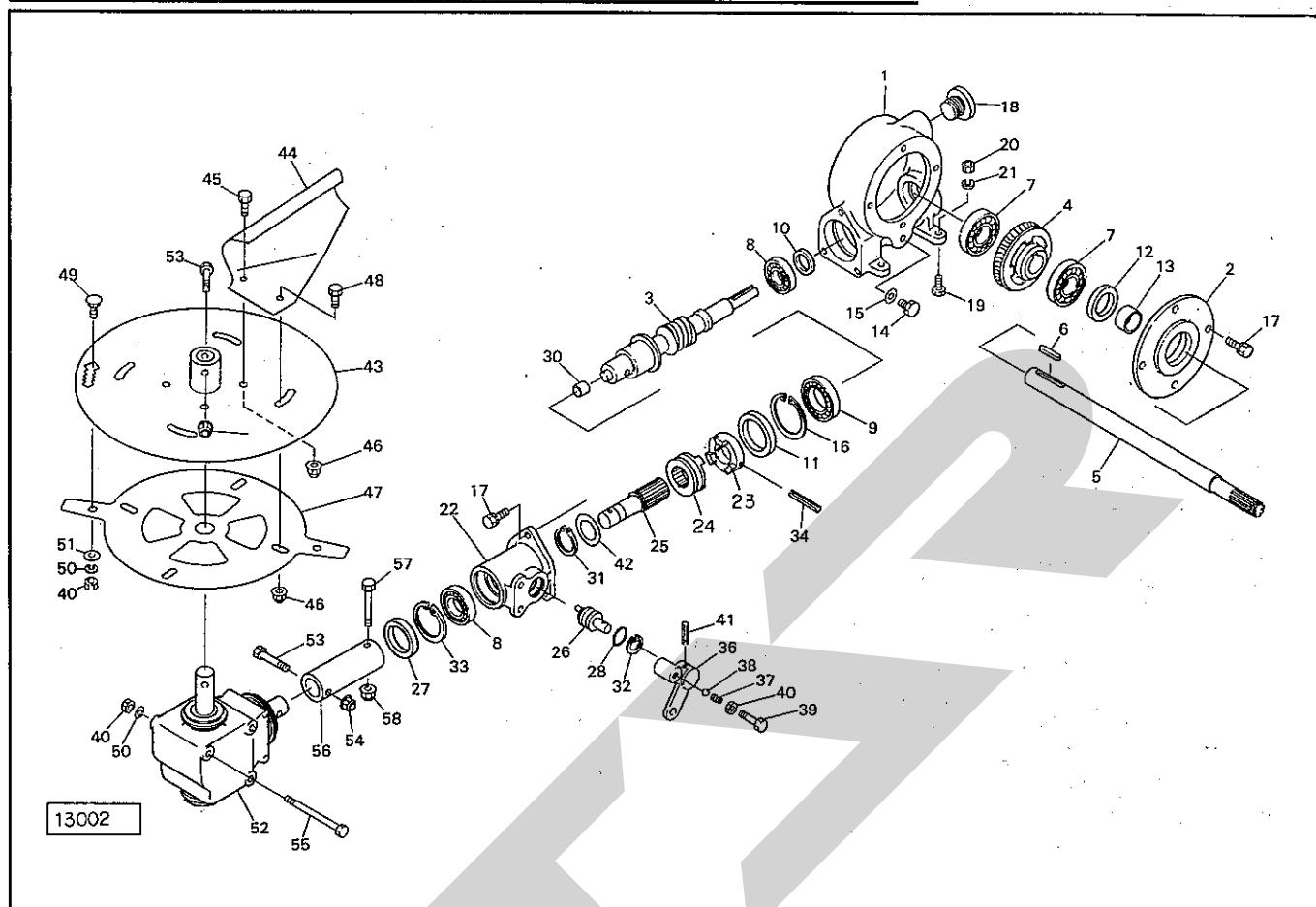
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
51	DE012	E ガタトメワ 12	1	
52	HL6062104000	スプリング	1	
53	HL6066110000	テンションプーリー 55T 1本掛	1	
54	HL6066070000	平座金	1	
55	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	1	
56	BA06014	ボルト 4.6 M6×14	1	
57	HL8082100000	スプリング	1	
58	HL2806420300	リンク (スプレッダ)	1	
59	HL0856020300	レバー (サイドクラッチ)	1	
60	HL6066030030	グリップ φ12 (黒)	2	
61	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	2	
62	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	2	
63	HL0856060000	サイドクラッチワイヤー	2	
64	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	2	
65	WRA06	ヒラザガネ M6	2	
66	HL0896020300	リンク A (HST)	1	
67	BZ06030	ボルト 8.8 M6×30	1	
68	NA06	ナット 4 2シュ M6	2	
69	HL0896020200	レバー (HST)	1	
70	HL6066030010	グリップ φ9.5用 (黒)	1	
71	HL0896420000	リンク (バックストップ)	1	
72	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
73	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
74	HL2737220010	ワイヤカケ	1	
75	HL6062105000	スプリング	1	
76	HL7252221000	スプリングカケ金具	1	
77	NA08	ナット 4 2シュ M8	1	
78	HL6066530100	タンパックル	1	
79	HL0896020800	ロッド (テンション)	1	
80	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
81	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
82	HL0856420100	ロッド (セーフティ)	2	
83	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	4	
84	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	4	
85	HL2806420000	レバー (走行クラッチ)	1	
86	HL0936020700	レバー (ブレーキ)	1	
87	HL6066030010	グリップ φ9.5用 (赤)	1	
88	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
89	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
90	HL2737220010	ワイヤカケ	1	
91	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
92	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
93	HL0856060200	ブレーキワイヤー	1	
94	HL6502150000	レバーシャフト	1	
95	HL7876410000	ロットエンド BL8D	2	
96	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
97	HL0896020400	ロッド A (HST)	1	
98	NA08L	ナット 4 2シュ L M8	2	
99	HL7876410010	ロットエンド BL8DL	2	
100	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	

JXS0510 ミキシングスプレッダ ソウサ



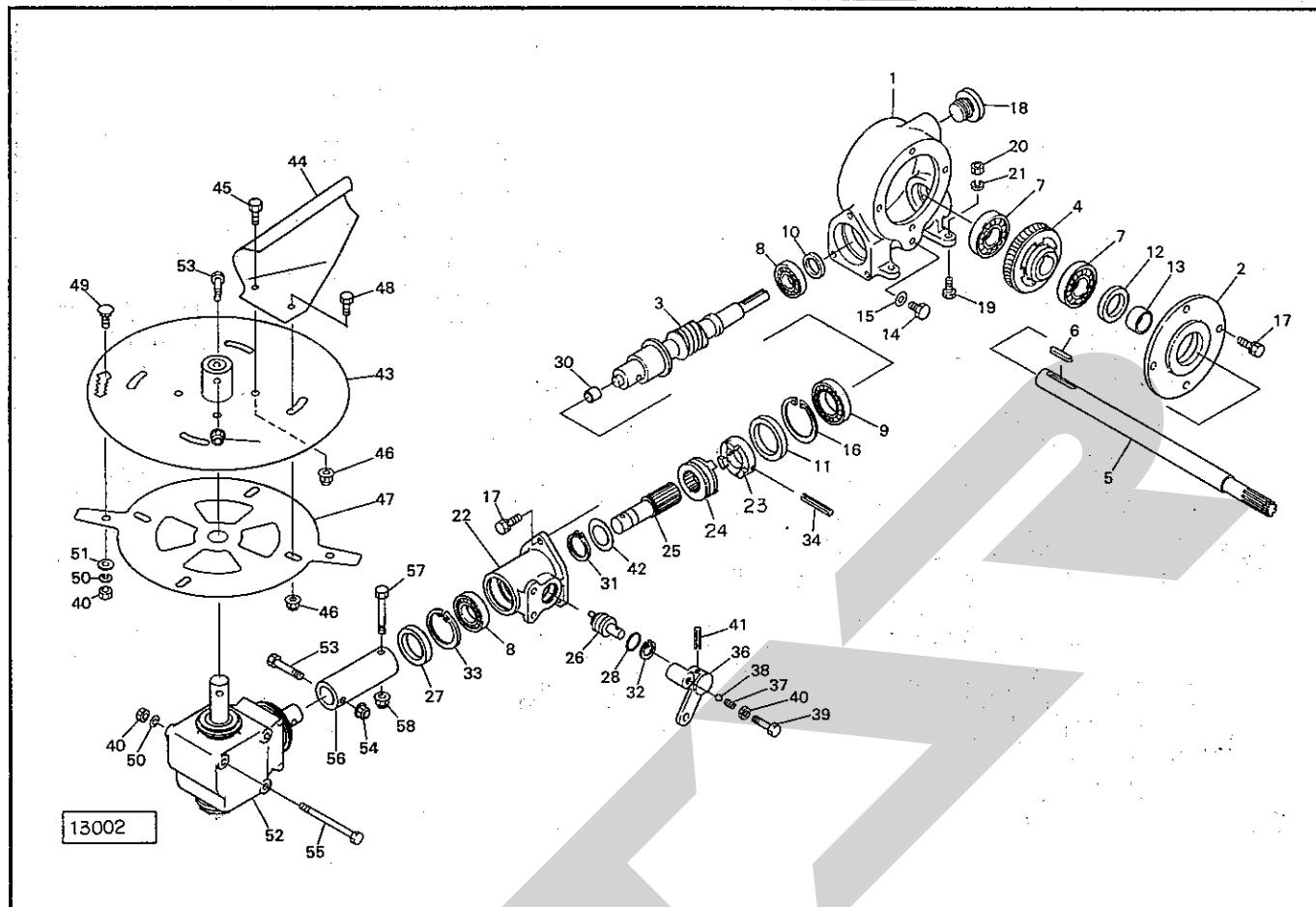
見出番号	部品番号	部品名稱	個数	備考
101	NA08	ナット 4 2シュ M8	4	
102	HL2806020200	リンク B (HST)	1	
103	HL2806020300	スプリング	1	
104	HL6060201000	座金	1	
105	HL02852212	ハードロックナット M12	1	
106	HL0896020600	ロッド B (HST)	1	
107	HL2806020400	アーム (HST)	1	
108	PS050025W	スプリングピン ダブルヨウ 5×25	1	
109	PS030025W	スプリングピン ダブルヨウ 3×25	1	
110	HL2806060001	ワイヤー (スプレッダ)	1	
111	HL2806020500	テンションアーム (スプレッダ)	1	
112	DE012	Eガタトメワ 12	1	
113	HL6172105000	スプリング	1	
114	HL6062104020	スプリング	1	
115	HL6066110000	テンションプーリー 55T 1本掛	1	
116	HL6066070000	座金	1	
117	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	1	
118	BA06014	ボルト 4.6 M6×14	1	
119	HL2806420100	レバー (スプレッダ)	1	
120	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
131	1146190000	ラベル；サギヨウクラッチレバー	1	
132	1061640000	ラベル；ケイコク1	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ ウォームギヤボックス・スピナ



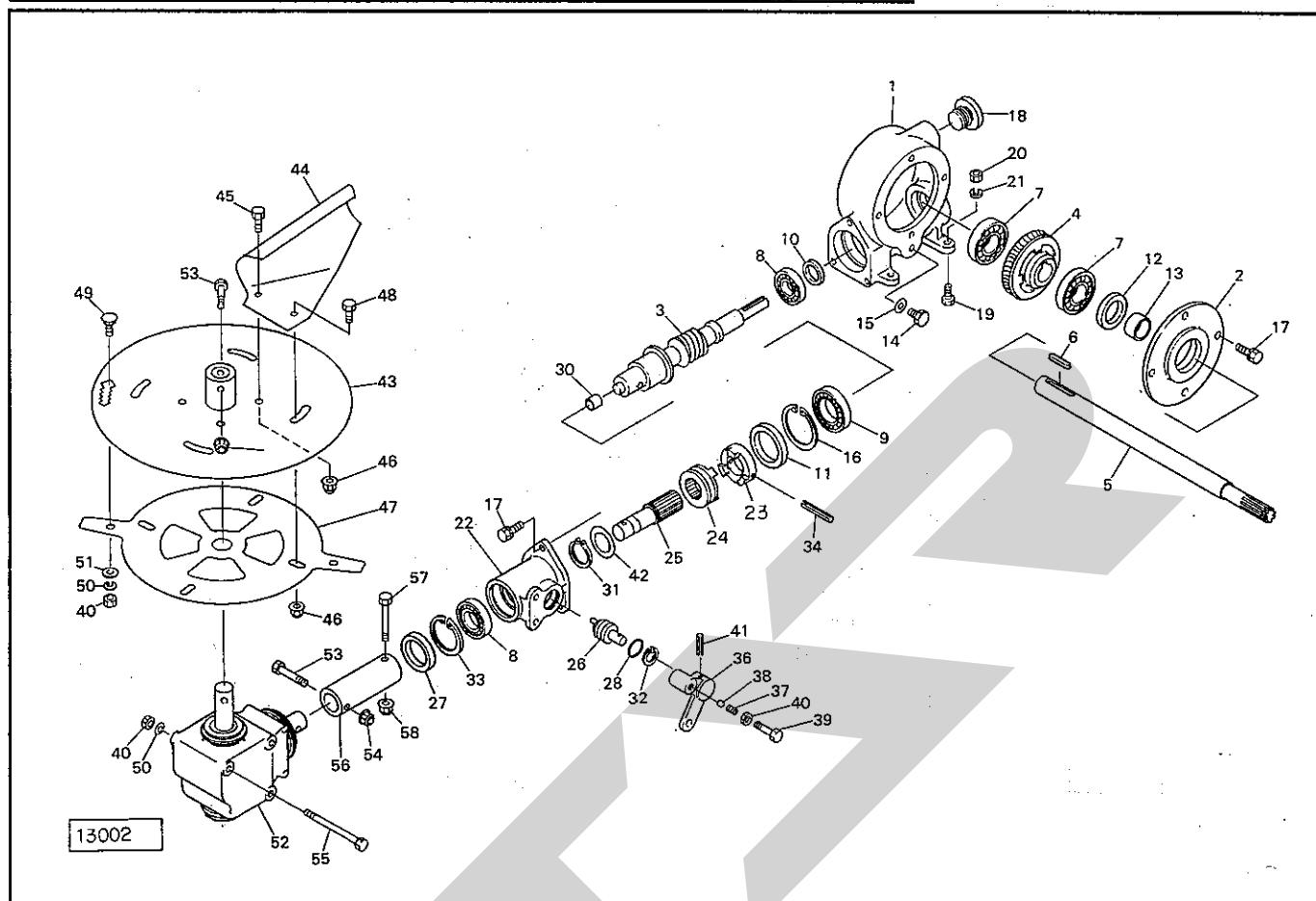
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	115545000D	ウォームボックス	1	
2	113588000D	キャップ	1	
3	1155480000	ウォーム CP	1	
4	1136120000	ウォームホイール	1	
5	1136100000	シャフト	1	
6	KFC08070450	ヘイコウキー リョウマル 8×7×45	1	
7	J6206	ボールベアリング 6206	2	
8	J6204	ボールベアリング 6204	2	
9	J6007	ボールベアリング 6007	1	
10	D20357	オイルシール D20×35×7	1	
11	D356210	オイルシール D35×62×10	1	
12	D35507	オイルシール D35×50×7	1	
13	SI303517	スリープ30×35×17 SI	1	
14	000338000M	プラグ；M10	1	
15	0003390000	M10 パッキン	1	
16	DHC062	Cガタトメワ アナ 62	1	
17	BSPZ08025	コガタ SW ツキボルト 7 M8×25	7	
18	0007170000	チュウユセン；23	1	
19	BSZ08030	コガタボルト 7 M8×30	4	
20	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	4	
21	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
22	113721000D	クラッチケース	1	
23	1136180000	クラッチ；1	1	
24	1136190000	クラッチ；2	1	
25	1137390000	シャフト	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ ウォームギヤボックス・スピナ

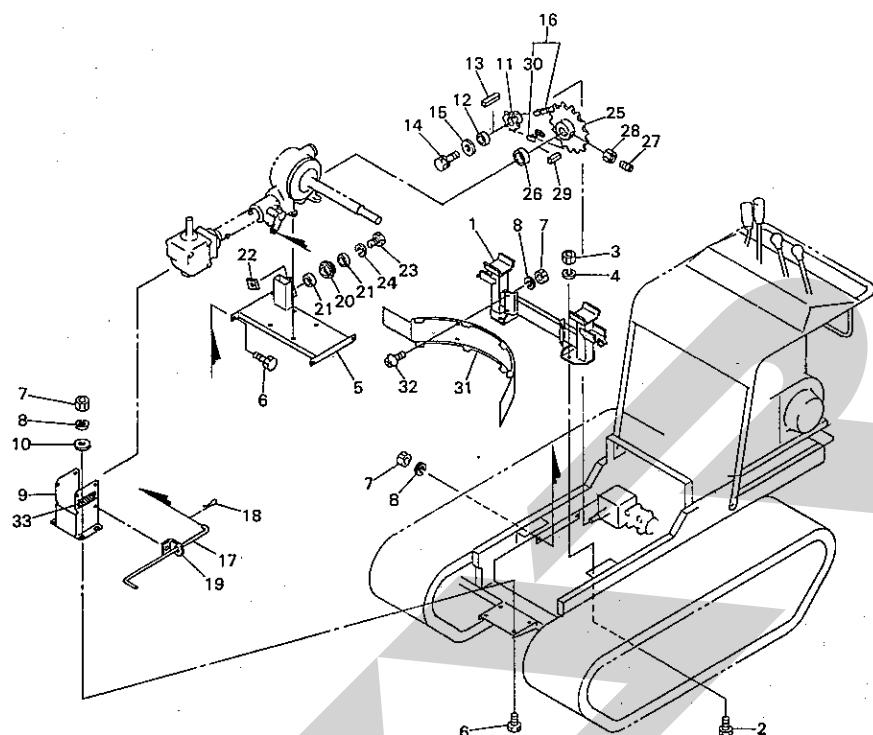


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	1137400000	シフタ	1	
27	D20477	オイルシール D20×47×7	1	
28	ORG025	O リング G-25	1	
30	KBB-1208A	カーボンドライベアリング A 12×8	1	
31	DC025	C ガタトメワ ジク 25	1	
32	DHC030	C ガタトメワ アナ 30	1	
33	DHC047	C ガタトメワ アナ 47	1	
34	PS060045	スプリングピン 6×45	1	
36	113769000D	レバー	1	
37	0167035002	ノッチスプリング	1	
38	JSB025	スチールボール B-5/16	1	
39	BSZ10030	コガタボルト 7 M10×30	1	
40	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	5	
41	PS060025	スプリングピン 6×25	1	
42	0556990000	シム	3	
43	114139000D	ブレードディスク CP	1	
44	0724411000	ブレード	4	
45	BC10020	ボルト ステン M10×20	4	
46	NNF10	フランジナイロンナット M10	8	
47	114144000M	ブレート	1	
48	BC10025	ボルト ステン M10×25	4	
49	000450000M	カクネボルト ; M10×20	1	
50	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	

JXS0510 ミキシングスプレッダ
ウォームギヤボックス・スピナ

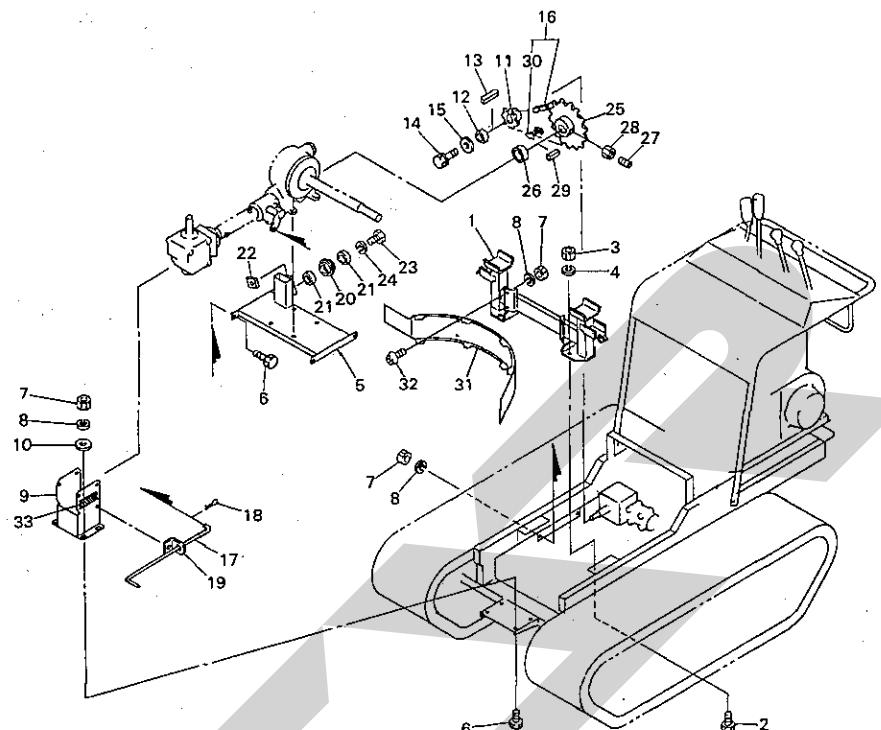


JXS0510 ミキシングスプレッダ JXSパーツ



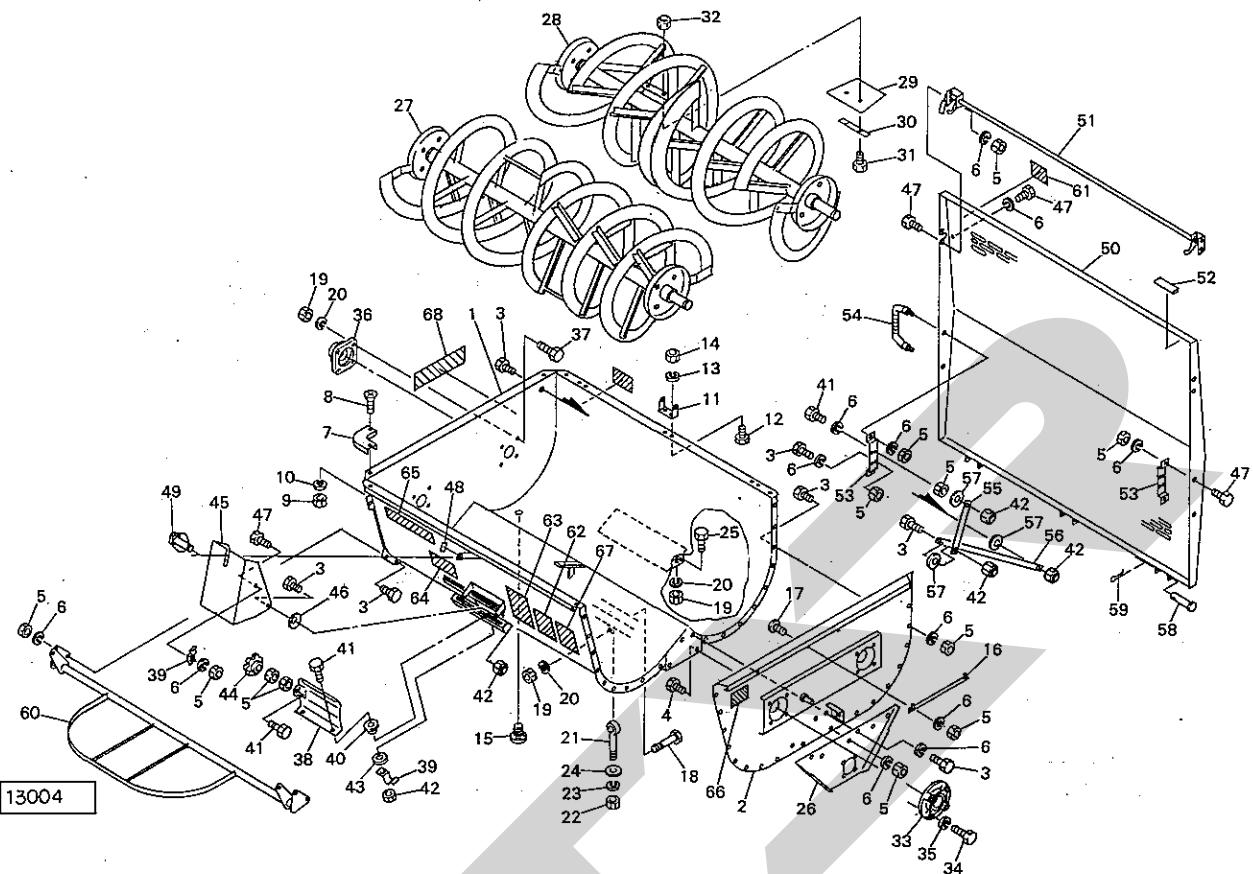
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	113681000D	フレーム CP	1	
2	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	4	
3	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	4	
4	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
5	116235000D	ウォームベース CP	1	
6	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	8	
7	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	12	
8	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	12	
9	113679000D	チャンネル	1	
10	044097200M	ワッシャ ; 8	4	
11	113622000D	スプロケット ; 14T	1	
12	113742000M	カラー ; 19.4×8	1	
13	KFB05050190	ヘイコウキー カタマル 5×5×19	1	
14	BSPY08020	コガタ SW ツキボルト 7 M8×20	1	
15	080414100M	ワッシャ ; 8	1	
16	LA40042	ローラチェーン 40×42L	1	
17	113773000M	ロッド	1	
18	PC032020	ワリピン 3.2×20	1	
19	113774000M	ロッド	1	
20	1050410000	テンションローラ CP	1	
21	105971000M	カラー ; 12.2×4.5	2	
22	100071000M	ナット	1	
23	BZ12045	ボルト 8.8 M12×45	1	
24	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	1	
25	115572000D	スプロケット ; 28T	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ
JXSパーティ



13003

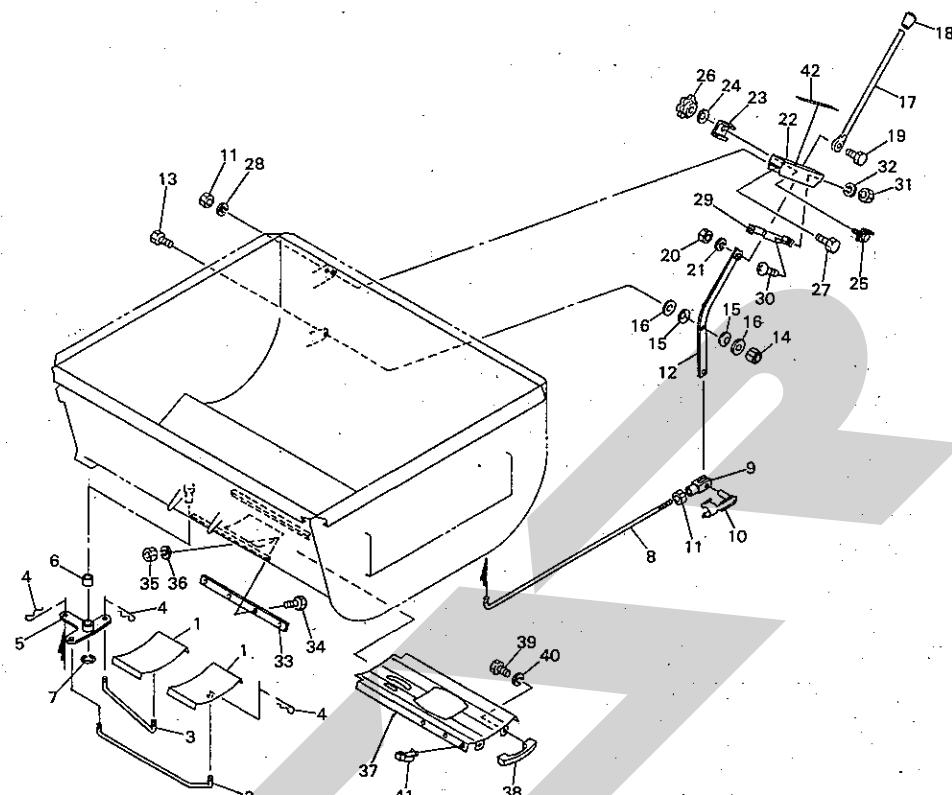
JXS0510 ミキシングスプレッダ ホッパ・オーガ



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1138081003	ホッパ CP	1	
2	1138691003	サイドプレート CP	1	
3	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	30	
4	BSZ08025	コガタボルト 7 M8×25	2	
5	NSZ08	コガタナット 8 2シュー M8	39	
6	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	39	
7	1139980003	エルボ	4	
8	CM04010	ナサラコネジ M4×10	8	
9	NA04	ナット 4 2シュー M4	8	
10	WS04	バネザガネ 2ゴウ M4	8	
11	113902000M	チャンネル	3	
12	BZ06012	ボルト 8.8 M6×12	6	
13	NZ06	ナット 8 2シュー M6	6	
14	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	6	
15	0007170000	注油栓 ; 23 樹脂	2	
16	114031000M	ステーCP	1	
17	CP08016	ナベコネジ M8×16	2	
18	BSZ10055	コガタボルト 7 M10×55	2	
19	NSZ10	コガタナット 8 2シュー M10	12	
20	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	12	
21	024049000M	アイボルト	2	
22	NZ12	ナット 8 2シュー M12	2	
23	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	2	
24	040608401M	ワッシャ ; 12	2	
25	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	2	

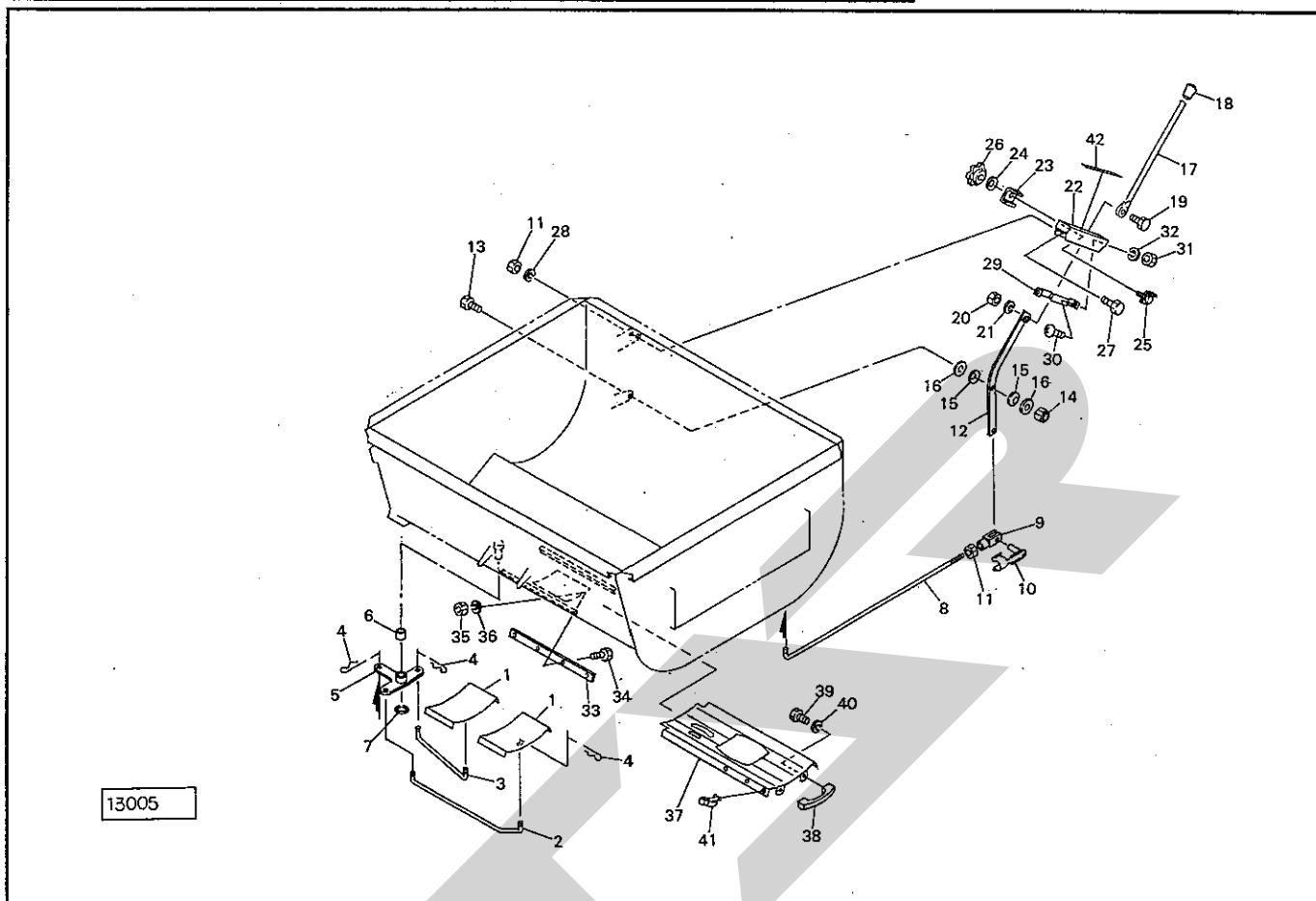
JXS0510 ミキシングスプレッダ ホッパ・オーガ

JXS0510 ミキシングスプレッダ シャッタ

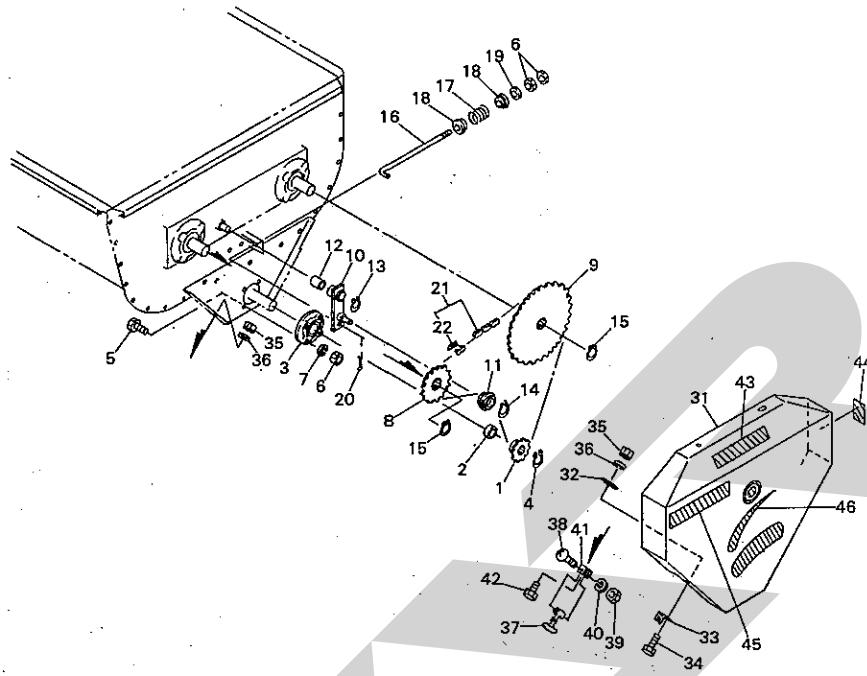


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1136730000	シャッタ CP	2	
2	113678000M	ロッド ; 1	1	
3	113680000M	ロッド ; 2	1	
4	000085200M	ベータピン ; 8×1.6	5	
5	113866000M	シャッタアーム CP	1	
6	KBB-1815A	カーボンドライベアリング A 18×15	1	
7	DE012	Eガタトメワ 12	1	
8	113695000M	ロッド ; 3	1	
9	079422000M	フォークエンド ; 10×40	1	
10	079423000M	ピン ; 10×40	1	
11	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	3	
12	113676000M	アーム CP	1	
13	BSZ10035	コガタボルト 7 M10×35	1	
14	NNF10	フランジナイロンナット M10	1	
15	WCR1L10	サラバネザガネ 1シュ ケイ M10	2	
16	WRA10	ヒラザガネ M10	2	
17	092285300M	レバーCP ; A	1	
18	0006880000	ニギリ ; 20	1	
19	BZ12045	ボルト 8.8 M12×45	1	
20	NZ12	ナット 8 2シュ M12	1	
21	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	1	
22	113747000M	セクター	1	
23	113873000M	チャンネル	1	
24	WCR1L12	サラバネザガネ 1シュ ケイ M12	1	
25	084698200M	プレート CP	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ シャッタ

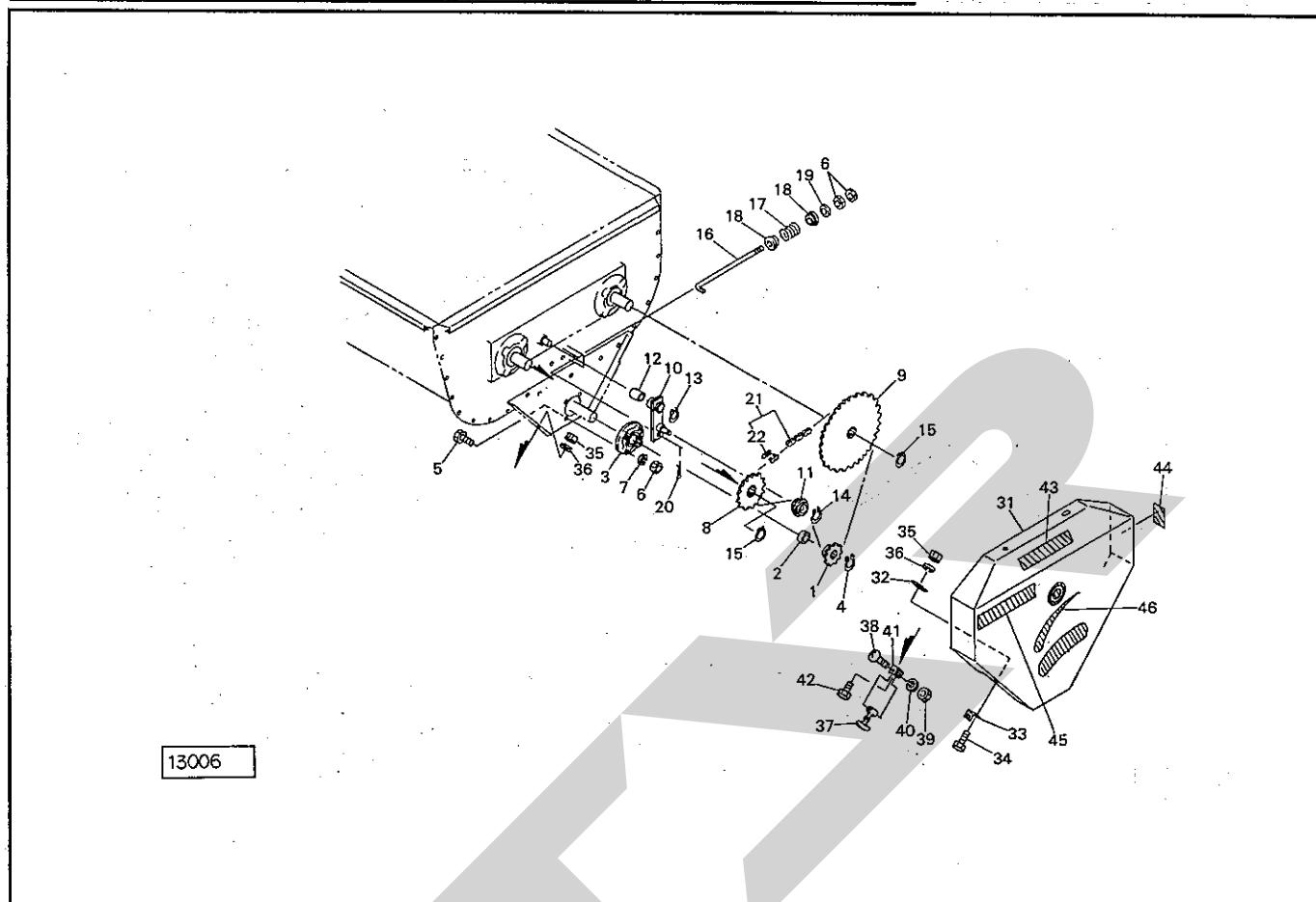


JXS0510 ミキシングスプレッダ クドウ・サイドカバー

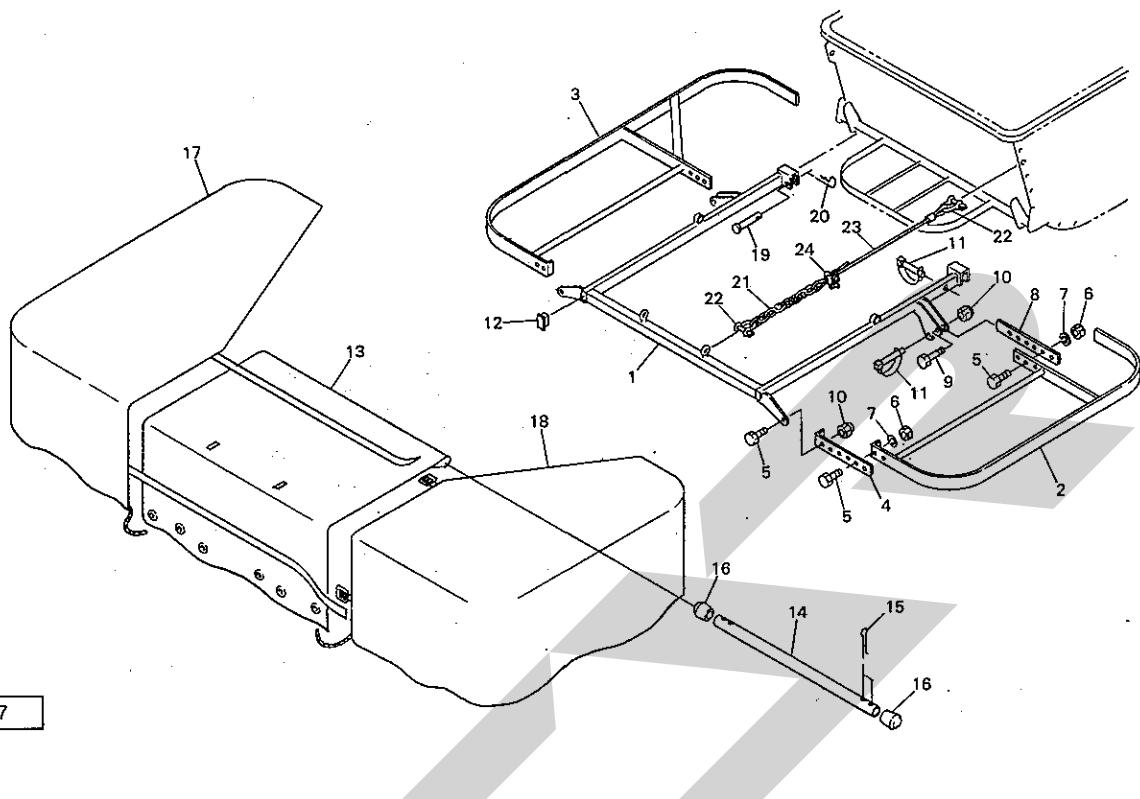


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1136240003	スプロケット；10T	1	
2	113744000M	カラー；25.5×14.5	1	
3	JUCFC205D1	ペアリングユニット UCFC205D1	1	
4	DC025	Cガタトメワ ジク 25	1	
5	BSZ10040	コガタボルト 7 M10×40	4	
6	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	6	
7	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
8	1136250003	スプロケット；20T	1	
9	1136260003	スプロケット；40T	1	
10	113722000M	テンションアーム CP	1	
11	081267000M	テンションローラ CP	1	
12	KBB-1825A	カーボンドライベアリング A 18×25	1	
13	DC018	Cガタトメワ ジク 18	1	
14	DC017	Cガタトメワ ジク 17	1	
15	DC035	Cガタトメワ ジク 35	2	
16	113726000M	ロッド	1	
17	085350000M	スプリング	1	
18	085351000M	カラー	2	
19	066580100M	ワッシャ；10.5×3.2	1	
20	PC032020	ワリピン 3.2×20	1	
21	LA60094	ローラチェーン 60×94L	1	
22	AA060	ツギテ 60	1	
31	1136350003	カバーCP	1	
32	114109000M	プレート	2	

JXS0510 ミキシングスプレッダ クドウ・サイドカバー



ACV0500 キャンバスカバーアタッチメント



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	114775000D	メインフレーム CP	1	
2	114759000D	フレーム CP ; L	1	
3	114763000D	フレーム CP ; R	1	
4	114712000D	アングル	2	
5	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	10	
6	NSZ10	コガタナット 8 2シュー M10	8	
7	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	8	
8	114713000D	プレート	2	
9	BSZ10040	コガタボルト 7 M10×40	2	
10	NNF10	フランジナイロンナット M10	4	
11	000453000M	デルタピン ; 9	4	
12	CAP040020	キャップ 40×20×1.6	2	
13	1147100000	キャンバス ; B	1	
14	114782000D	パイプ	1	
15	PC050036	ワリピン 5×36	4	
16	1147950000	キャップ	2	
17	1147090000	キャンバス ; A	1	
18	1147110000	キャンバス ; C	1	
19	000058200M	ピン ; B 10×50	2	
20	000085200M	ベータピン ; 8×1.6	2	
21	CZ050006	リンクチェーン ザツヨウ 5×27.5P×6	2	
22	SSC0620	シャックル 6-1/4	4	
23	1147710000	ワイヤ CP	2	
24	0653191000	ワイヤクリップ	2	



本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番31号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-4100 天塙郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見出張所 090-0001 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笛賀5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644